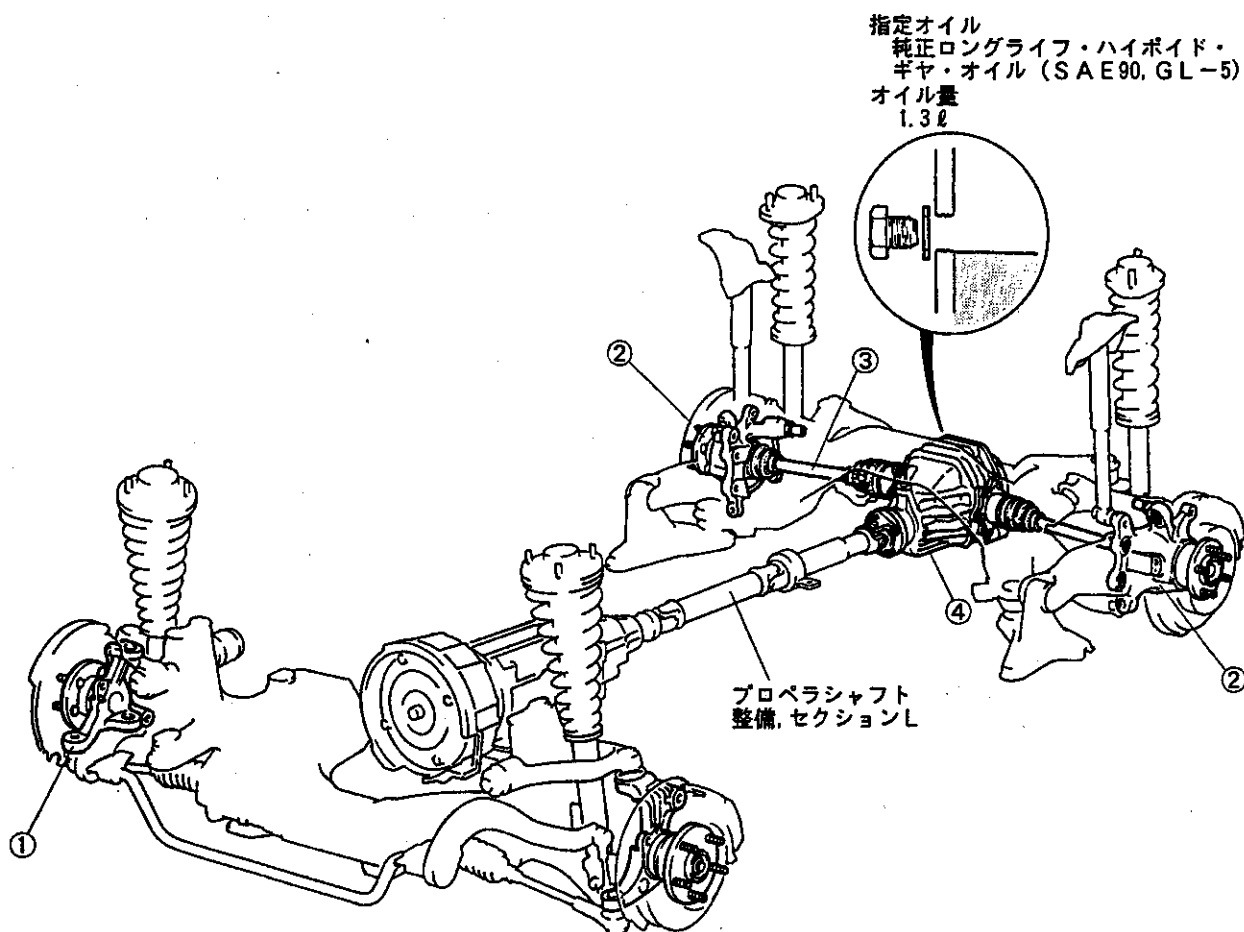


インデックス.....	M-2
トラブルシューティング・ガイド.....	M-3
フロント・アクスル.....	M-3
リヤ・アクスル.....	M-3
ディファレンシャル.....	M-3
フロント・アクスル.....	M-4
作業前の準備品.....	M-4
ホイール・ハブ、	
ステアリング・ナックル.....	M-5
リヤ・アクスル.....	M-9
作業前の準備品.....	M-9
ホイール・ハブ.....	M-9
ドライブシャフト.....	M-14
ダブル・オフセット・ジョイント.....	M-14
ディファレンシャル.....	M-20
作業前の準備品.....	M-20
ディファレンシャル・オイル.....	M-22
オイル・シール	
(アウトプット・シャフト)	M-22
機能点検.....	M-24
ディファレンシャル(標準型), リミテッド・	
スリップ・ディファレンシャル.....	M-25

インデックス



1. フロント・アクスル

- 取外し/点検/取付け.....p. M-5
分解/点検/組付け.....p. M-7

2. リヤ・アクスル

- 点検.....p. M-9
取外し/取付け.....p. M-10
分解/点検/組付け.....p. M-11

3. ドライブシャフト

- 取外し/取付け.....p. M-14
オーバーホール.....p. M-16

4. ディファレンシャル

- ディファレンシャル・オイル.....p. M-22
オイル・シール (アウトプット・
シャフト)p. M-22
機能点検.....p. M-24
取外し/取付け.....p. M-25
分解/点検/組付け.....p. M-28

トラブルシューティング・ガイド

フロント・アクスル

不具合項目	考えられる原因	処置	ページ
ステアリング・ホイールの振動	ホイール・ベアリングの摩耗、損傷	交換	M-5
ブレーキの片効き	ホイール・ベアリングの摩耗、損傷	交換	M-5

リヤ・アクスル

不具合項目	考えられる原因	処置	ページ
異音	ドライブシャフトの曲がり	交換	M-14
	ホイール・ベアリングの摩耗、損傷	交換	M-9
	ドライブシャフト・スプラインの摩耗	交換	M-16

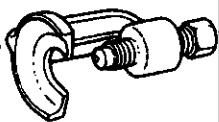
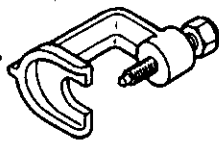
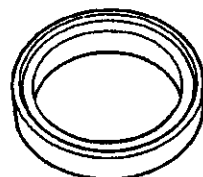
ディファレンシャル

不具合項目	考えられる原因	処置	ページ
異音	ディファレンシャル・オイル不足	補給	M-22
	ディファレンシャル・オイル質不良	指定オイルと交換	M-22
	リング・ギヤ・バックラッシュ調整不良	調整	M-36
	リング・ギヤ歯当たり不良	調整	M-38
	オイル・シールの摩耗、損傷	交換	M-22, 35
	リング・ギヤの摩耗、損傷	交換	M-28
	ドライブ・ピニオン・ベアリングの摩耗、損傷	交換	M-28
熱が逃げない	ディファレンシャル・オイル不足 ベアリング・プリロード不足	補給 調整	M-22 M-35
オイル漏れ	ディファレンシャル・オイル過多 ディファレンシャル・キャリヤの緩み オイル・シールの摩耗、損傷	オイル取出し 締付け・交換 交換	M-22 M-25 M-22, 35
ディファレンシャル作動不良	組付け不良	修正	M-28

フロント・アクスル

作業前の準備品

専用工具 (SST)

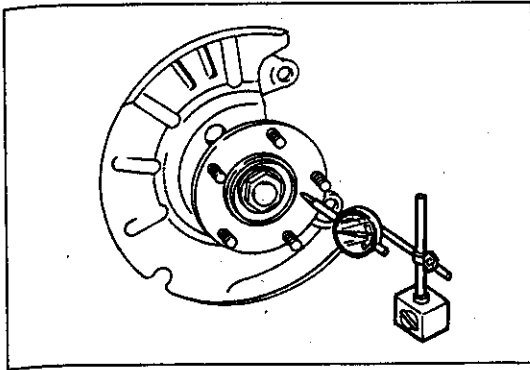
49 0118 850C ボール・ジョイント・プーラ 	タイロッド・エンド 取外し用	49 0727 575 ボール・ジョイント・プーラ 	アッパ・アーム、 ロア・アーム・ ボール・ジョイント 取外し用
49 J033 101 センサ・ロータ・ インストーラ 	センサ・ロータ 取付け用		

計測器

ダイヤル・ゲージ	ホイール・ベアリングのガタ点検 測定用
----------	------------------------

油脂類、その他

純正汎用グリース	オイル・シール・リップ部塗布用、 その他
----------	-------------------------



ホイール・ハブ、ステアリング・ナックル

簡易点検

ホイール・ベアリングのガタ点検

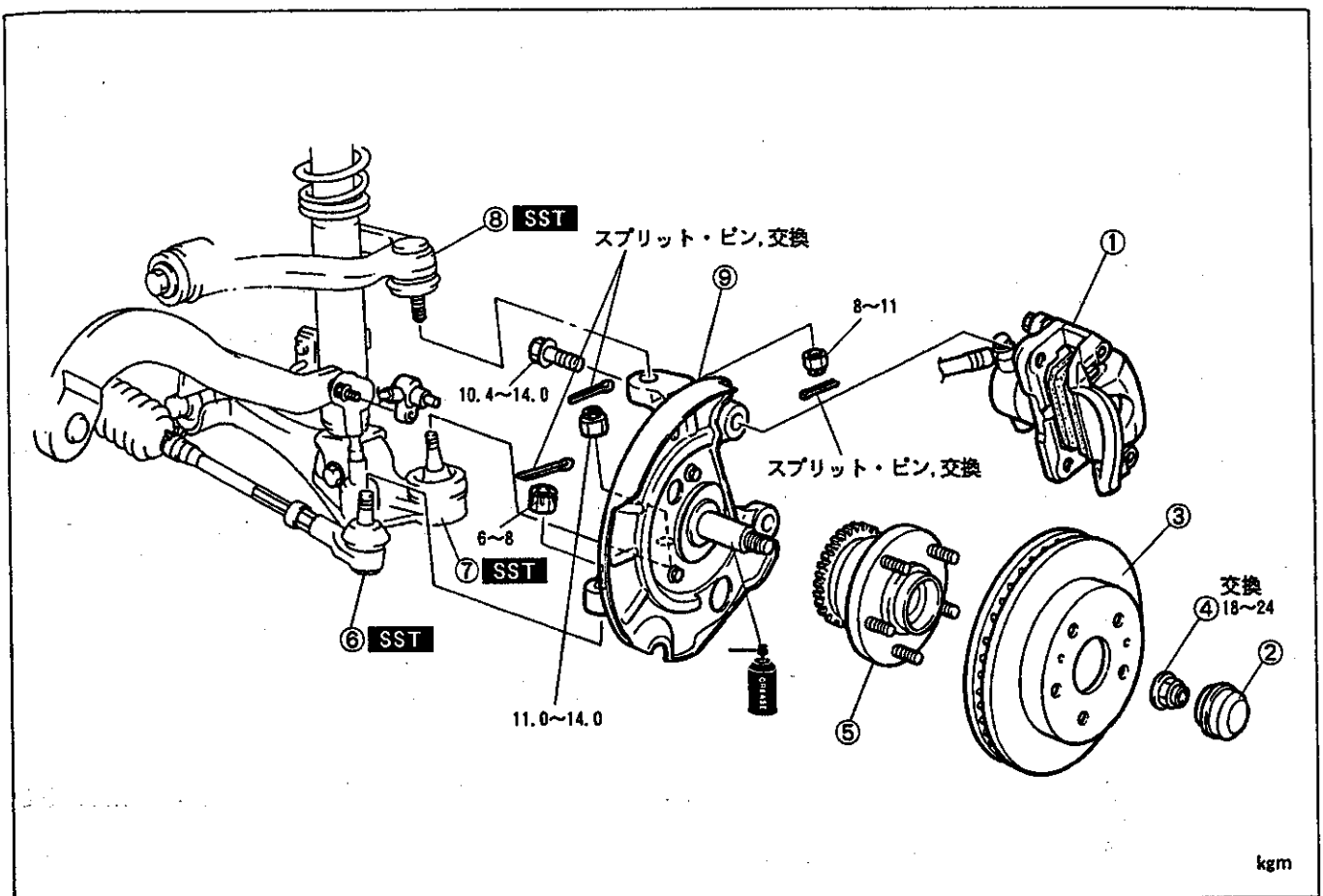
1. マグネット・ベースとダイヤル・ゲージを図の様に取付けて、ホイール・ベアリング軸方向のガタを点検する。

限度値 0.05mm

2. 限度値以上の場合は、ホイール・ハブASSYを交換する。
(参照：p. M-7)

取外し／点検／取付け

1. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
2. 各部品を目視点検して、不具合部品を交換する。
3. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。



1. ブレーキ・キャリパASSY

取外し／取付け.....セクションP

2. ハブ・キャップ

3. ディスク・プレート

4. ロックナット

取付け時の留意点.....p. M-6

5. フロント・ホイール・ハブASSY

亀裂、損傷を点検する

分解／点検／組付け.....p. M-7

6. タイロット・エンド

取外し時の留意点.....p. M-6

整備.....セクションN

7. ロア・アーム

取外し時の留意点.....p. M-6

整備.....セクションR

8. アップ・アーム

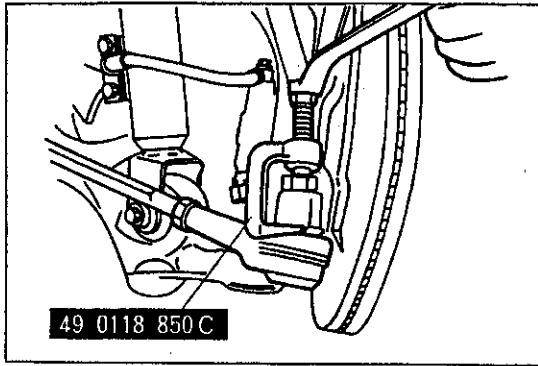
取外し時の留意点.....p. M-6

整備.....セクションR

9. ダスト・カバー、ナックル・スピンドル

ダスト・カバーの損傷、変形を点検する

ナックル・スピンドルの亀裂、損傷を点検する



取外し時の留意点 タイロッド・エンド

注意

- ・スプリット・ピンを再使用しない。

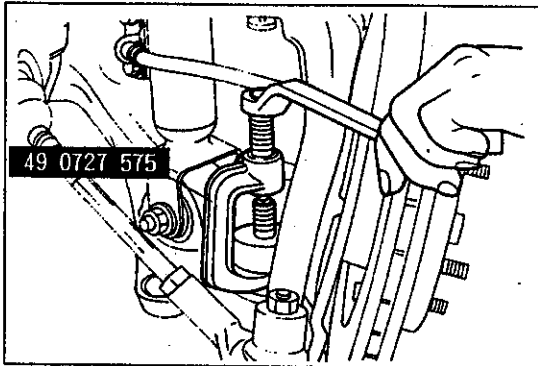
1. スプリット・ピンを抜き、ナットをボール・スタッド端面と面一になるまでゆるめる。
2. SSTを使用して、ボール・ジョイントをステアリング・ナックルから切離す。

ロア・アーム

注意

- ・スプリット・ピンを再使用しない。

1. スプリット・ピンを抜き、ナットをボール・スタッド端面と面一になるまでゆるめる。
2. SSTを使用して、ボール・ジョイントをロア・アームから切離す。

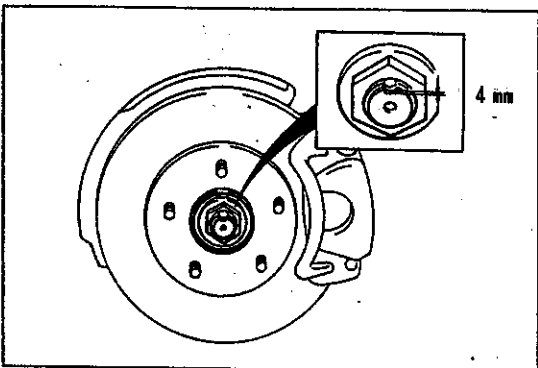
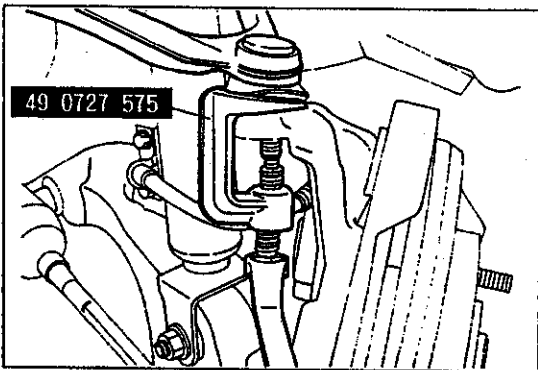


アッパ・アーム

注意

- ・スプリット・ピンを再使用しない。

1. スプリット・ピンを抜き、ナットをボール・スタッド端面と面一になるまでゆるめる。
2. SSTを使用して、ボール・ジョイントをアッパ・アームから切離す。



取付け時の留意点 ロックナット

注意

- ・カシメた後、図のようにロックナットの端が4 mm以上あることを確認する。

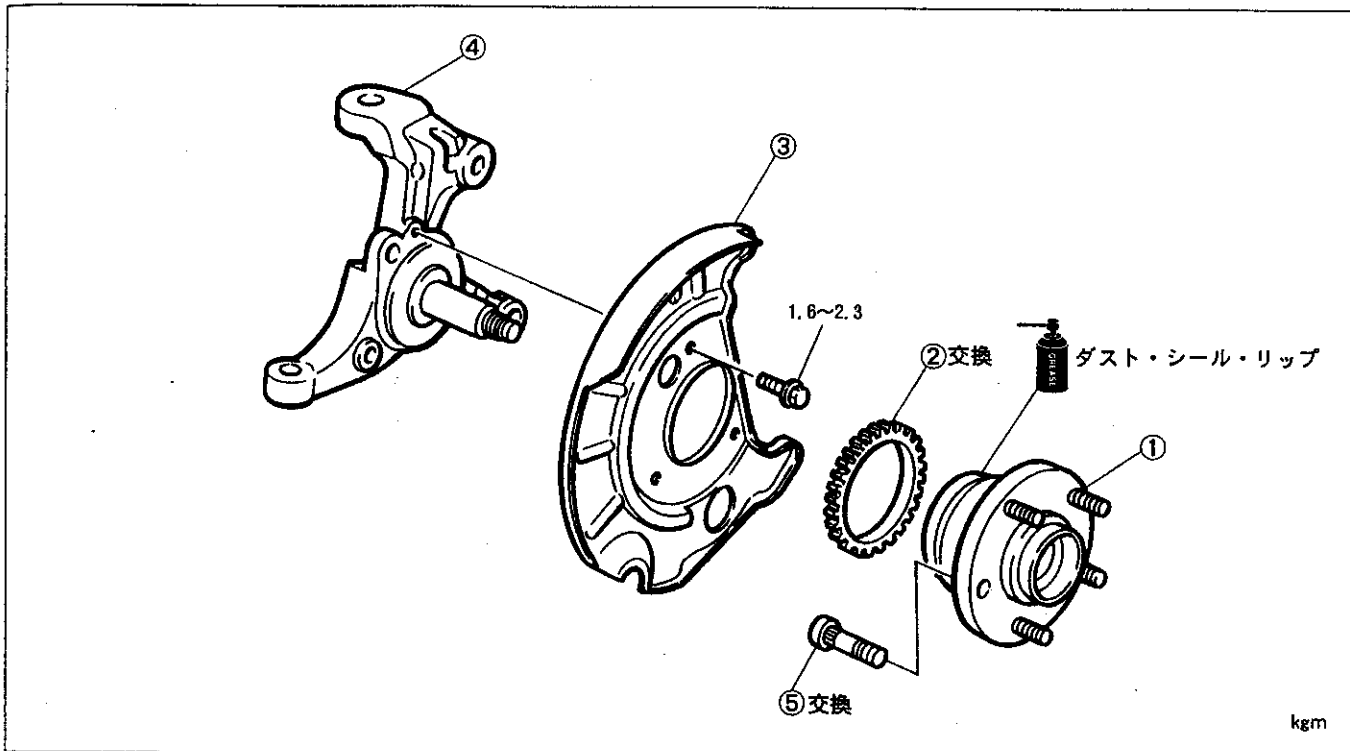
1. 新品のロックナットを締付けた後、カシメる。

締付けトルク 18~24kgm

2. ホイール・ベアリングのガタを点検する。
(参照: p. M-5)

分解／点検／組付け

1. 分解時の留意点を参照して、図に示す手順で分解する。
2. 各部品を目視点検して、不具合部品を交換する。
3. 組付け時の留意点を参照して、分解と逆の手順で組付ける。



1. フロント・ホイール・ハブASSY

2. センサ・ロータ

分解時の留意点.....p. M-7

組付け時の留意点.....p. M-8

3. ダスト・カバー

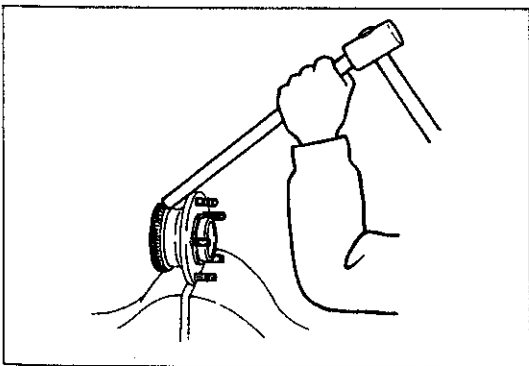
4. ナックル・スピンドル

損傷・き裂がないか点検する

5. ハブ・ボルト

分解時の留意点.....p. M-7

組付け時の留意点.....p. M-8



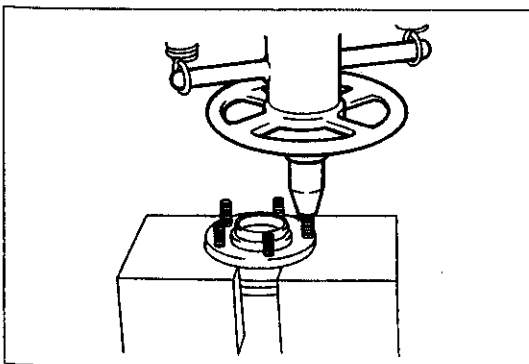
分解時の留意点

センサ・ロータ

1. 真ちゅう棒等を使用して、センサ・ロータを取外す。

注意

- ・センサ・ロータは再使用しないこと。
- ・不具合があるときだけ外す。

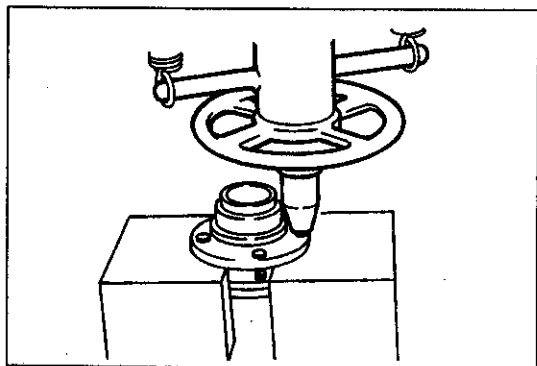


ハブ・ボルト

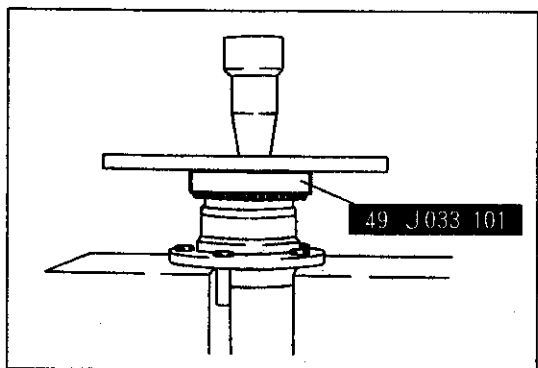
注意

- ・ハブ・ボルトは、不具合のある場合にのみ取外す。
- ・取外したハブ・ボルトを再使用しない。

1. プレスを使用して、ハブ・ボルトをホイール・ハブから取り外す。

**組付け時の留意点****ハブ・ボルト**

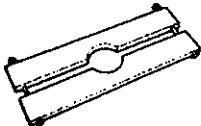
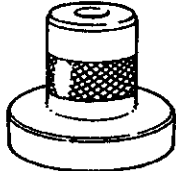
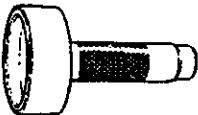
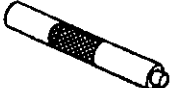
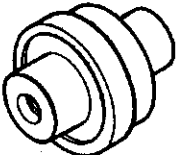
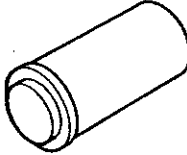
1. プレスを使用して、新品のハブ・ボルトをホイール・ハブに組付ける。

**センサ・ロータ**

1. SSTを使用して、センサ・ロータを取付ける。

リヤ・アクスル

作業前の準備品
専用工具 (SST)

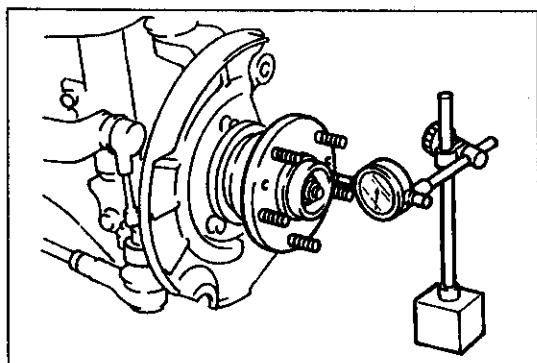
49 H026 108 リムービング・プレート 	アクスル・フランジASSY 取外し用	49 V001 795 オイル・シール・インストーラ 	アクスル・フランジASSY 取外し用 ホイール・ベアリング取付け用
49 B001 795 オイル・シール・インストーラ 	ホイール・ベアリング 取外し用	49 B001 797 ハンドル (49 B001 795の構成品) 	ホイール・ベアリング 取外し用
49 G026 102 ベアリング・リプレーサ 	ホイール・ベアリング 取外し用	49 H026 104 ガイド・ブロック 	ホイール・ベアリング、アクスル・フランジASSY 取付け用

計測器

ダイヤル・ゲージ	ホイール・ベアリングのガタ点検用
----------	------------------

油脂類、その他

純正汎用グリース	各部塗布用
----------	-------



ホイール・ハブ

簡易点検

ホイール・ベアリングのガタ点検

1. マグネット・ベースとダイヤル・ゲージを図の様に取付けて、ホイール・ハブ軸方向のガタを点検する。

限度値 0.05mm

2. 限度値以上の場合は、ホイール・ベアリングを交換する。
(参照：p. M-11)

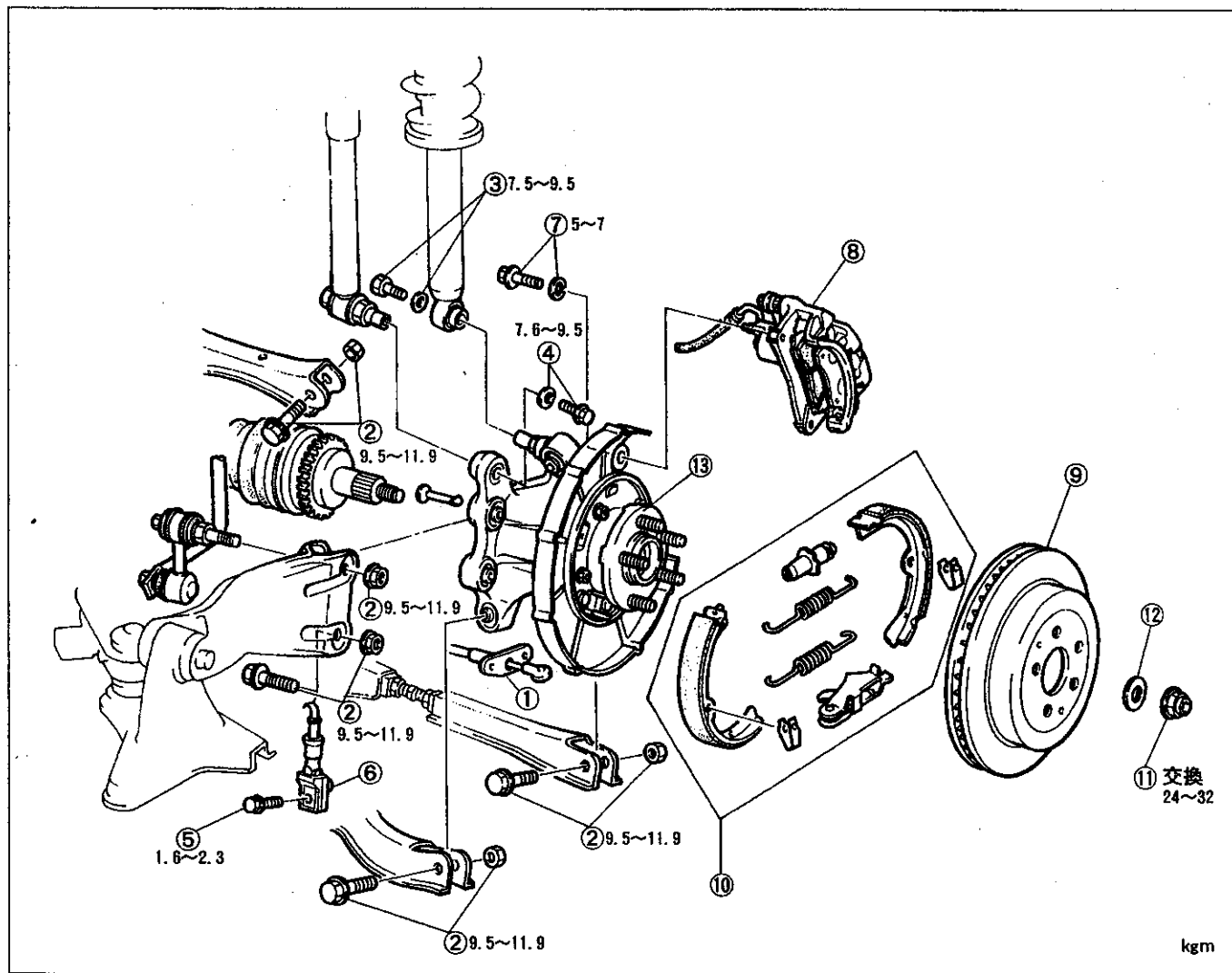
取外し／取付け

1. ホイール・ナットを緩める。
2. 車両後部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
5. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。

注意

・ショック・アブソーバ下側のボルト、ナットは車両をジャッキ・ダウンし、空車荷重をかけて締付ける。

6. リヤ・ホイール・アライメントを調整する。(参照：p. R-10)



1. リヤ・パーキング・ケーブル

整備.....セクションP

2. ボルト, ナット

3. ボルト, ワッシャ

4. ボルト, ワッシャ

5. ボルト

6. ホイール・スピード・センサ (4WABS装着車)

7. ボルト, ワッシャ

8. ブレーキ・キャリパASSY

取外し時の留意点.....p. M-11

9. ディスク・プレート

10. パーキング・ブレーキ・シューASSY

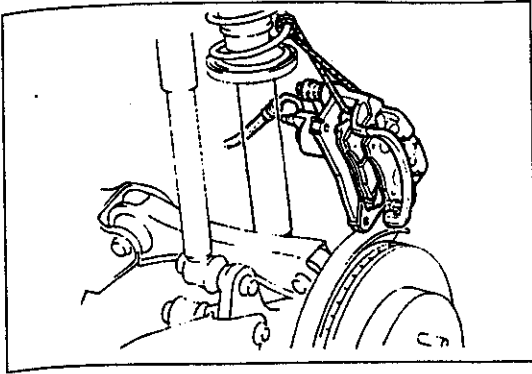
整備.....セクションP

11. ロックナット

12. ワッシャ

13. リヤ・ハブ・サポートASSY

分解/点検/組付け.....p. M-11



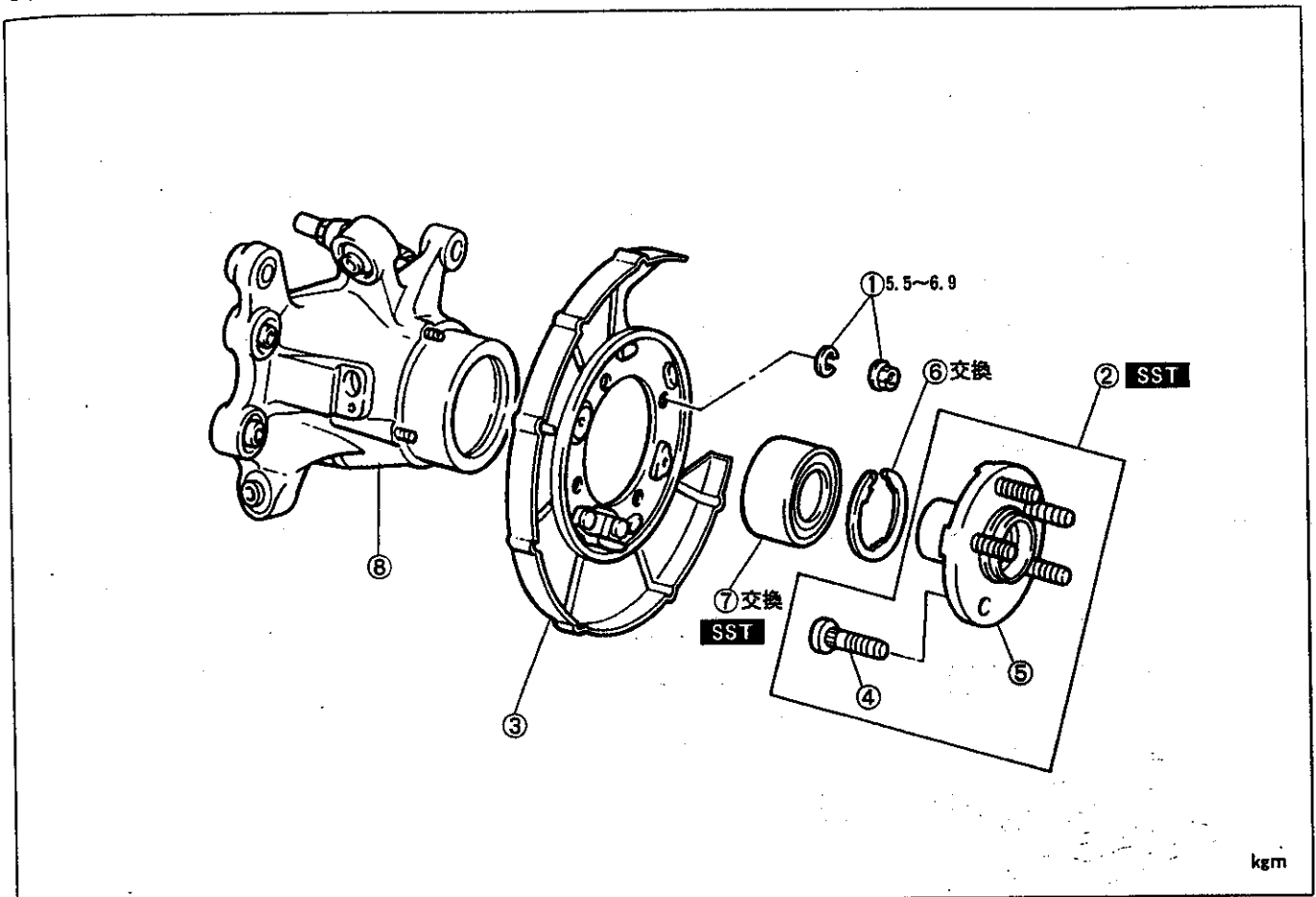
取外し時の留意点

ブレーキ・キャリアASSY

1. 図示のように、ブレーキ・キャリアASSYをひもで吊る。

分解／点検／組付け

1. 分解時の留意点を参照して、図に示す手順で分解する。
2. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
3. 組付け時の留意点を参照して、分解と逆の手順で組付ける。



kgm

1. ナット、ワッシャ

2. アクسل・フランジASSY

分解時の留意点..... p. M-12

組付け時の留意点..... p. M-13

3. バック・プレート

損傷・変形がないか点検する

4. ハブ・ボルト

分解時の留意点..... p. M-12

組付け時の留意点..... p. M-13

5. アクセル・フランジ

損傷・き裂がないか点検する

6. スナップ・リング

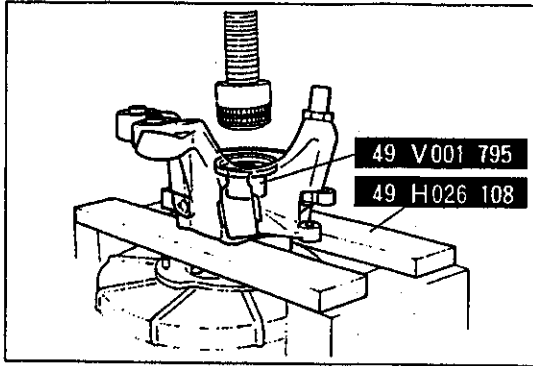
7. ホイール・ベアリング

分解時の留意点..... p. M-12

組付け時の留意点..... p. M-12

8. リヤ・ハブ・サポート

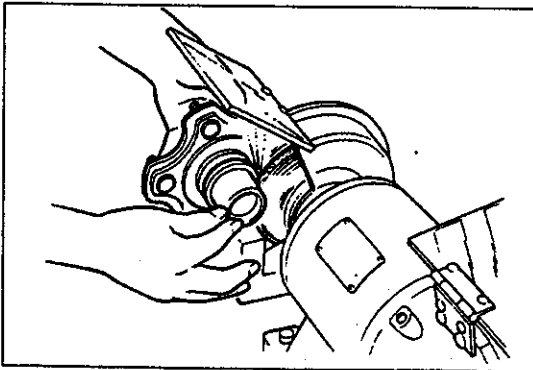
損傷・き裂がないか点検する



分解時の留意点

アクスル・フランジASSY

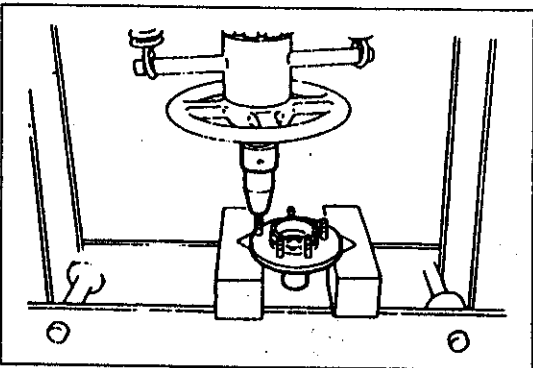
1. SSTを使用して、アクスル・フランジASSYを取外す。



2. グラインダを使用して、ホイール・ベアリング・インナ・レースを約0.5mm残るまで削る。
3. タガネを使用して、ホイール・ベアリング・インナ・レースを割り、アクスル・フランジから取外す。

注意

- ・アクスル・フランジをグラインダやタガネで傷付けない。

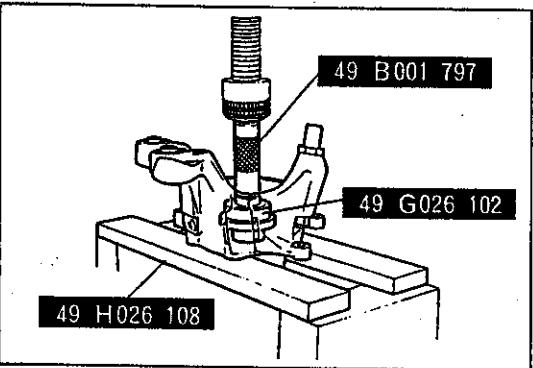


ハブ・ボルト

注意

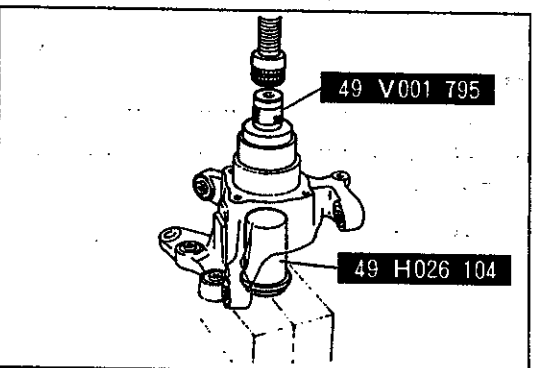
- ・必要な場合以外は、ハブ・ボルトを取外さない。
- ・取外したハブ・ボルトを再使用しない。

1. プレスを使用して、ハブ・ボルトを取外す。



ホイール・ベアリング

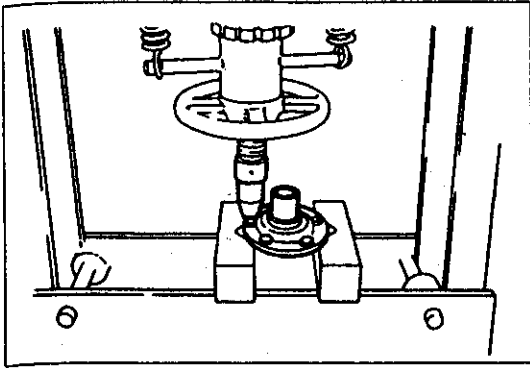
1. SSTを使用して、ホイール・ベアリングを取外す。



組付け時の留意点

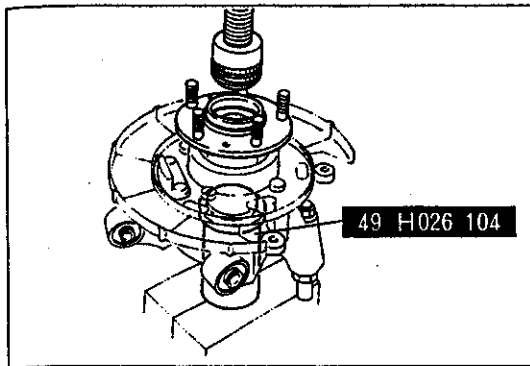
ホイール・ベアリング

1. SSTを使用して、新品のホイール・ベアリングを組付ける。



ハブ・ボルト

1. プレスを使用して、ハブ・ボルトをアクスル・フランジに取付ける。



アクスル・フランジASSY

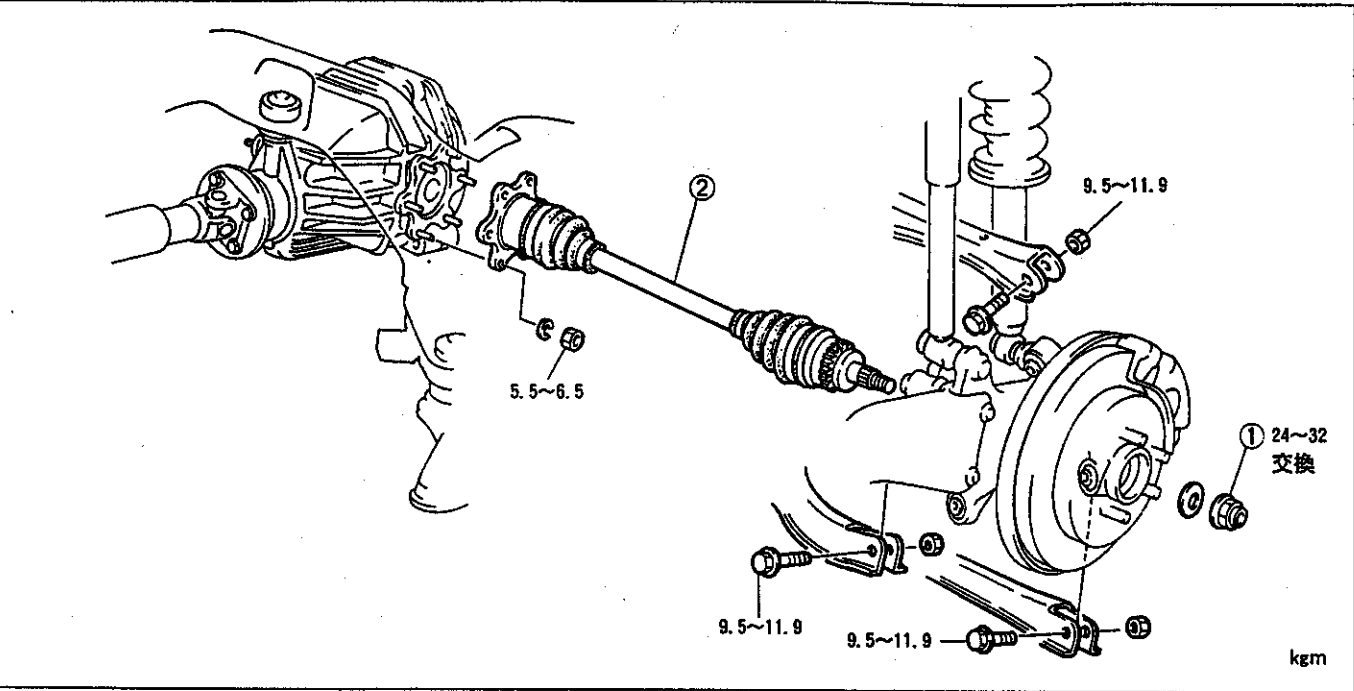
1. SSTを使用して、アクスル・フランジASSYをリヤ・ハブ・サポートに取付ける。

ドライブシャフト

ダブル・オフセット・ジョイント

取外し／取付け

- 1. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取付ける。
- 2. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取外す。
- 3. 取付け後、リヤ・ホイール・アライメントを調整する。（参照：セクションR）

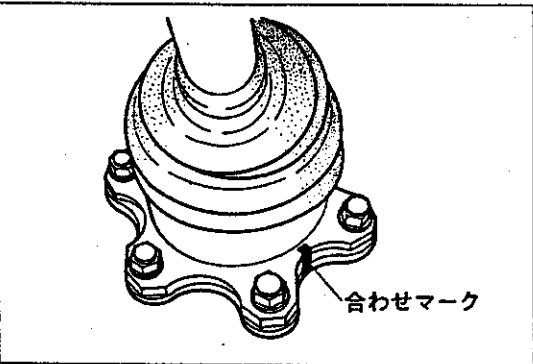


1. ロックナット

取付け時の留意点.....p. M-6

2. ドライブシャフト

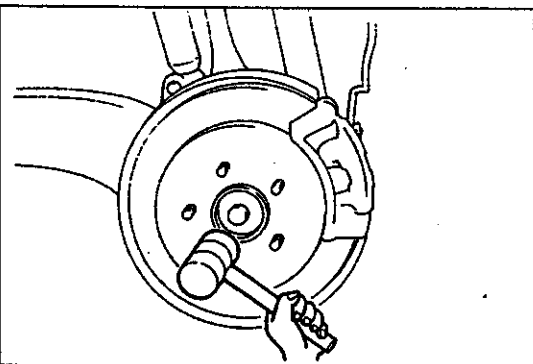
取外し時の留意点.....p. M-14
取付け時の留意点.....p. M-15
オーバーホール.....p. M-16



取外し時の留意点

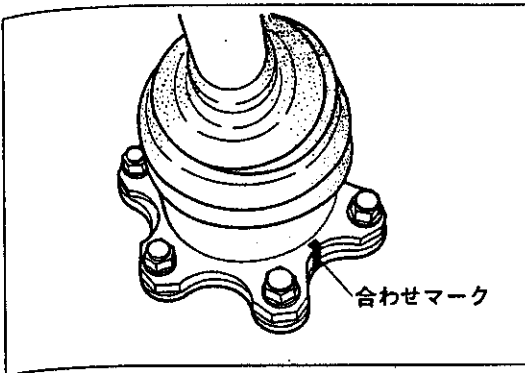
ドライブシャフト

- 1. ドライブシャフトを取外す前に、ドライブシャフトとアウトブット・シャフトに合わせマークを付ける。



参考

- ・ドライブシャフトがホイール・ハブに密着している場合は、使用済みのロックナットを、シャフトの端面と面一になるように取付け、プラスチック・ハンマを使用して、ナットを軽くたたく。



取付け時の留意点

ドライブシャフト

1. 合わせマークを合わせて、ドライブシャフトを取付ける。

締付けトルク 5.5～6.5kgm

14
15
16

ト

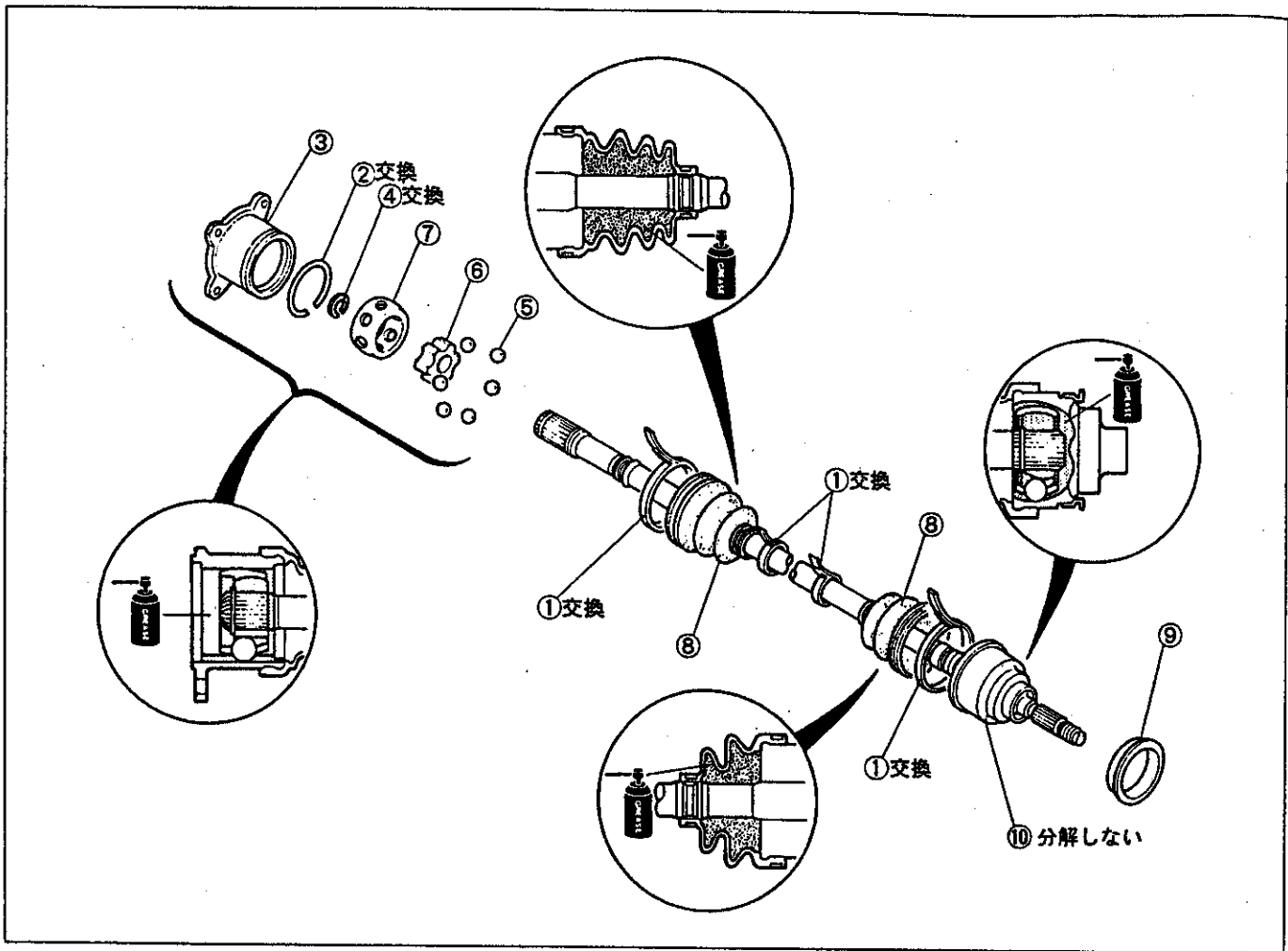
上
経

オーバーホール

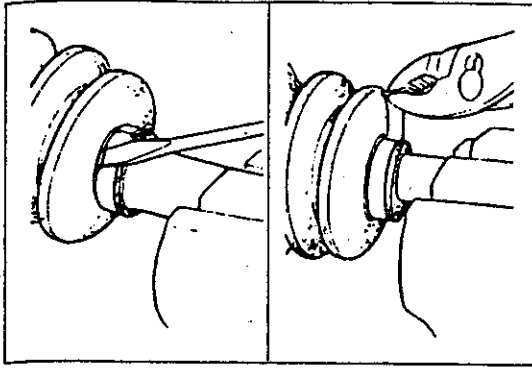
注意

- ・ホイール側ジョイントを分解しない。

1. 分解前にドライブシャフトASSYを点検する。
2. 分解時の留意点を参照して、図に示す手順で分解する。
3. 各部品を目視点検して、不具合部品を交換する。
4. 組付け時の留意点を参照して、分解と逆の手順で行う。



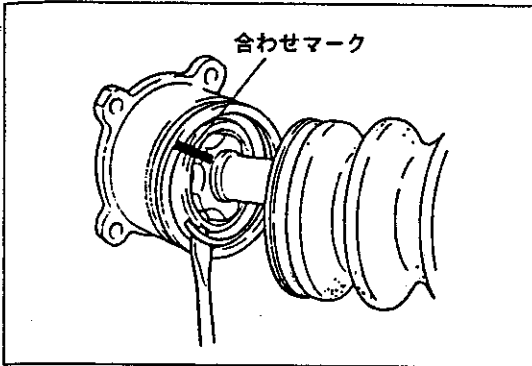
- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. ブーツ・バンド | 7. ケージ |
| 分解時の留意点..... p. M-17 | 分解時の留意点..... p. M-17 |
| 組付け時の留意点..... p. M-19 | 組付け時の留意点..... p. M-18 |
| 2. クリップ | 8. ブーツ |
| 分解時の留意点..... p. M-17 | 損傷、亀裂を点検する |
| 3. アウタ・リング | 分解時の留意点..... p. M-18 |
| 内面の摩耗、腐食、傷を点検する | 組付け時の留意点..... p. M-18 |
| 4. スナップ・リング | 9. ダスト・カバー |
| 分解時の留意点..... p. M-17 | |
| 5. ボール | 10. シャフト、ボール・ジョイントASSY |
| 分解時の留意点..... p. M-17 | スプラインの損傷と摩耗を点検する |
| 組付け時の留意点..... p. M-18 | ホイール側ジョイントの遊びの大きさと回転具合を点検する |
| 6. インナ・リング | |
| 分解時の留意点..... p. M-17 | |
| 組付け時の留意点..... p. M-18 | |



分解時の留意点

ブーツ・バンド

1. ブーツ・バンドを取外す時は、ドライバを使用して、ロック・クリップを押上げて、バンドの端を持上げる。

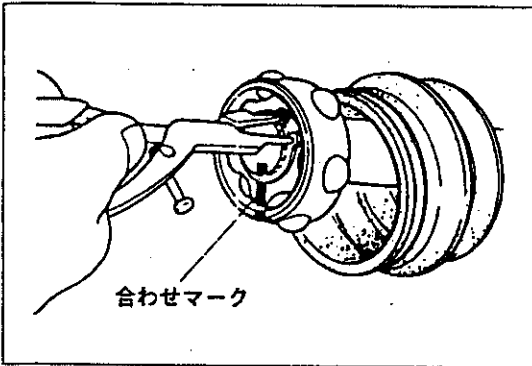


クリップ

注意

- ・ポンチで合わせマークを付けない。

1. ドライブシャフトとアウト・リングに合わせマークを付ける。
2. クリップを取外す。

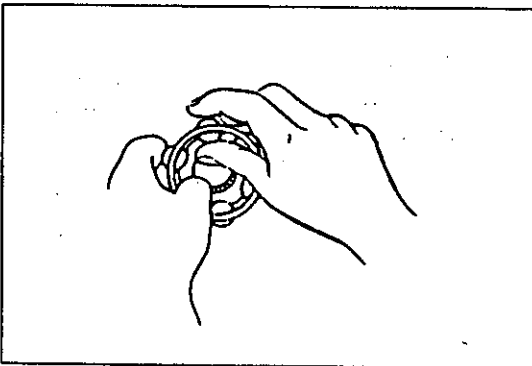


スナップ・リング

注意

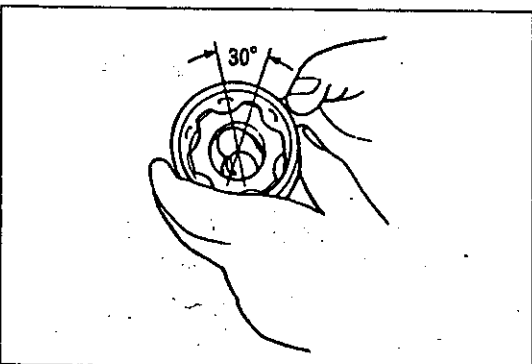
- ・ポンチで合わせマークを付けない。

1. ドライブシャフト先端とインナ・リングに合わせマークを付ける。
2. スナップ・リング・プライヤを使用して、スナップ・リングを取外す。



ケージ、インナ・リング、ボール

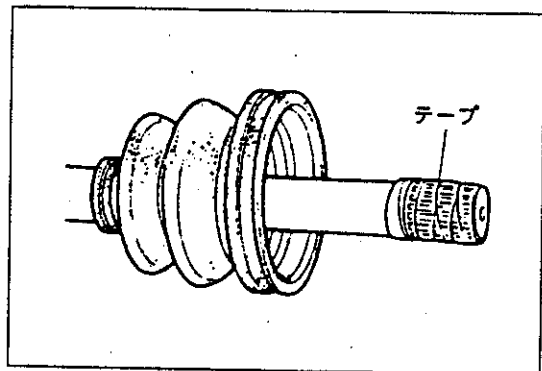
1. ボールを取外すために、インナ・リングとケージの間に⊖ドライバを入れて、ボールを取外す。



注意

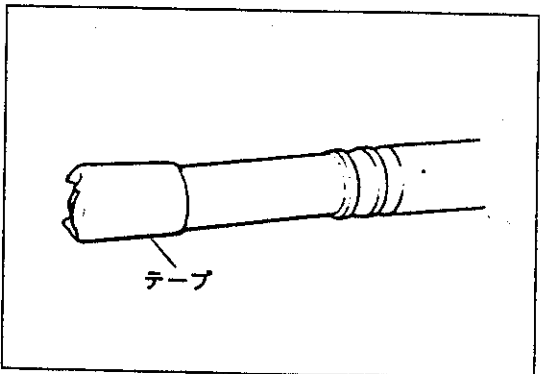
- ・ポンチで合わせマークを付けない。

2. インナ・リングとケージに合わせマークを付ける。
3. ケージを約30°回転させて、インナ・リングから取外す。



ブーツ

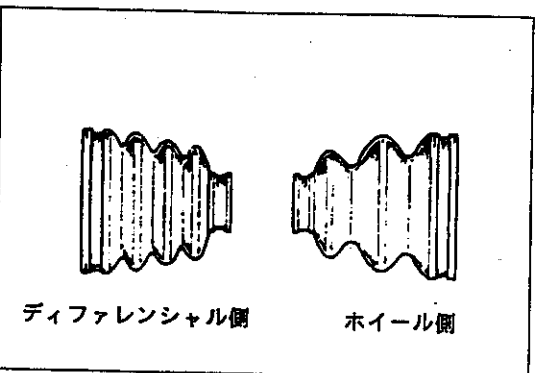
1. シャフト・スプラインをテープで巻く。
2. ブーツを取外す。



組付け時の留意点

ブーツ

1. ブーツをシャフトに取付ける前に、シャフト・スプラインをテープで巻く。

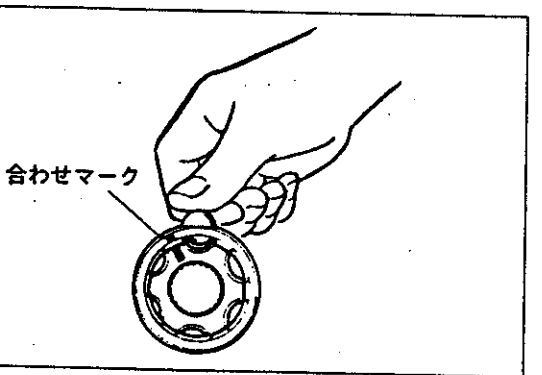


注意

- ・ボール・ジョイント・ブーツの形は、ホイール側とディファレンシャル側で異なっている。間違えて取付けないように注意すること。

ラージ・ブーツ先端の外直径

ディファレンシャル側	13B-REW車	106.7mm
	20B-REW車	110.2mm
ホイール側	13B-REW車	110.2mm
	20B-REW車	114.2mm



ケージ、インナ・リング、ボール

1. 合わせマークを合わせて、ボールをインナ・リングに取付ける。

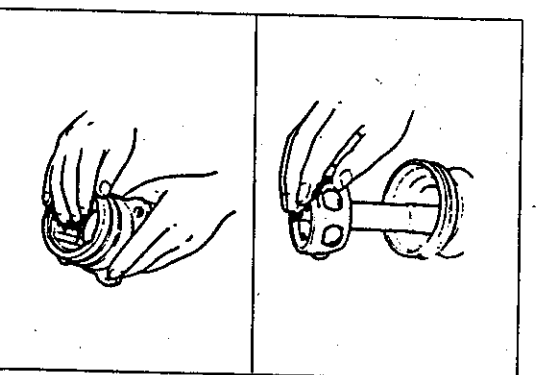
注意

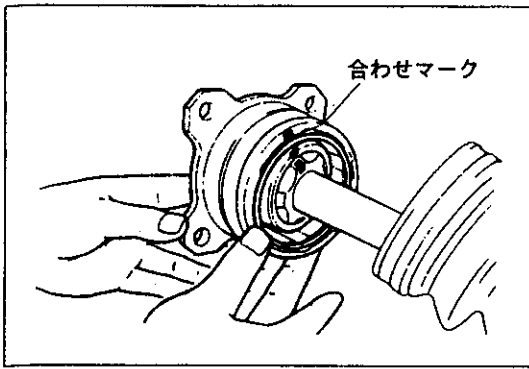
- ・グリースは、キット部品に含まれているものを使用する。

2. 指定グリースをジョイントとブーツに充てんする。

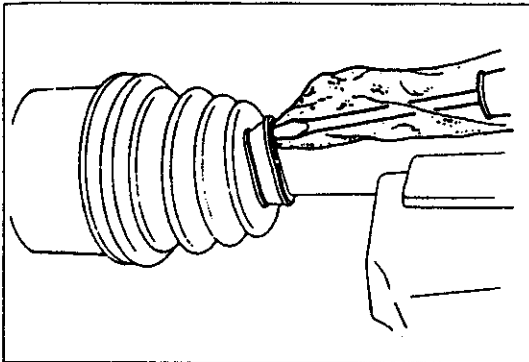
充てん量

ディファレンシャル側	13B-REW車	140~160g
	20B-REW車	165~185g
ホイール側	13B-REW車	125~145g
	20B-REW車	140~160g





3. 合わせマークを合わせて、新品のクリップを取付ける。

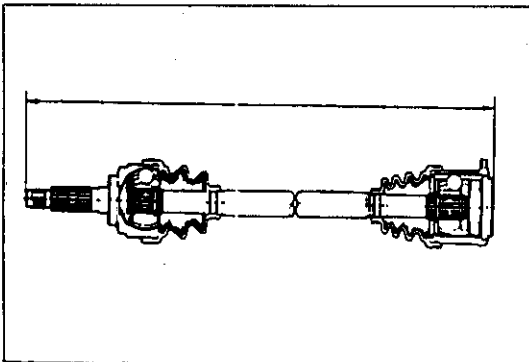


ブーツ・バンド

注意

- ・ブーツにへこみやねじれがないか確認する。
- ・ブーツ内のエアを抜くために、ブーツの小さい方の先端を注意して持上げる。

1. ブーツをアウト・リングとインナ・リングに取付ける。

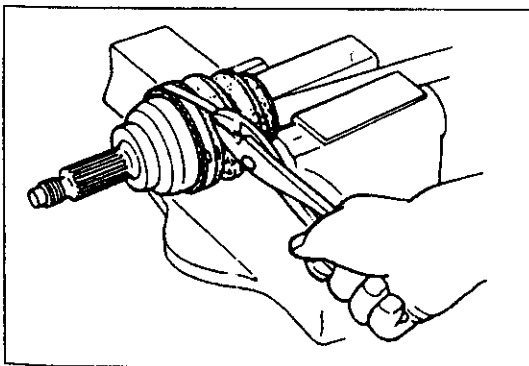


2. ドライブシャフトの長さを測定する。

標準値	13B-REW車	左側	676.4~686.4mm
		右側	736.4~746.4mm
	20B-REW車	左側	673.6~683.6mm
		右側	733.6~743.6mm

参考

標準値 (車両取付け時)	13B-REW車	左側	678.4mm
		右側	738.4mm
	20B-REW車	左側	678.6mm
		右側	738.6mm



注意

- ・必ず新品のバンドを使う。
- ・バンドは、ドライブシャフトの前進時回転方向とは逆の方向に折曲げる。

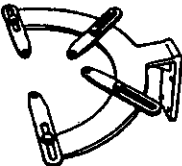

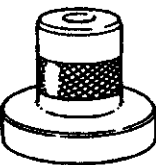



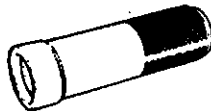
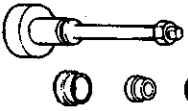
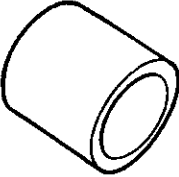
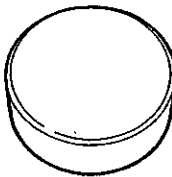
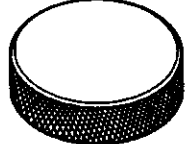

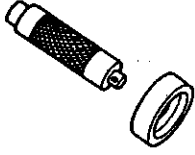
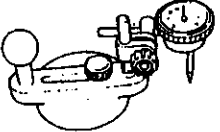
3. バンドの先端をプライヤで引張った後、折返す。



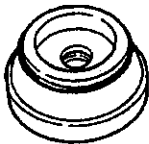
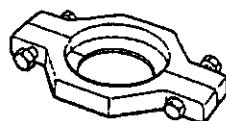
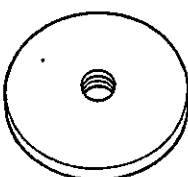
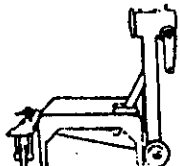
4. 折返したバンドをクリップを折曲げて固定する。

ディファレンシャル

作業前の準備品

専用工具 (SST)

49 M005 561 デフ・キャリア・ハンガ 	ディファレンシャル 分解、組付け用	49 UB71 525 ベアリング・インストーラ 	サイド・ベアリング 組付け用
49 V001 795 オイル・シール・インストーラ 	オイル・シール 組付け用	49 S120 710 カップリング・フランジ・ホルダ 	コンパニオン・フランジ・ロック ナット 分解、組付け用
49 G030 338 アタッチメントE 	リヤ・ベアリング 組付け用	49 0839 425C ベアリング・プーラ・セット 	サイド・ベアリング、コンパニオン・フランジ 分解用
49 F401 331 ボデー 	リヤ・ベアリング 組付け用	49 8531 565 ドライブ・ピニオン・モデル 	ピニオン・ハイト 調整用
49 J027 002 カラー 	ピニオン・ハイト 調整用	49 N027 001 ゲージ・ブロック 	ピニオン・ハイト 調整用
49 0305 555 ゲージ・ブロック (20mm) 	ピニオン・ハイト 調整用	49 U027 001 カラー 	ピニオン・ハイト 調整用
49 G030 795 オイル・シール・インストーラ 	オイル・シール 組付け用	49 0727 570 ピニオン・ハイト・ゲージ・ボデー 	ピニオン・ハイト 調整用

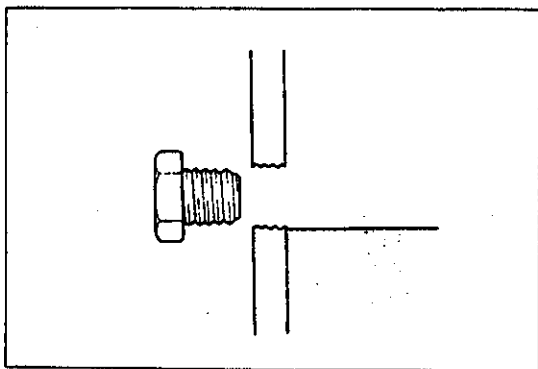
49 G030 796 ボデー (49 G030 795の 構成品)		オイル・シール 組付け用	49 G030 797 ハンドル (49 G030 795の 構成品)		オイル・シール 組付け用
49 F027 007 アタッチメント・ フォー 72ベアリング		フロント・ベアリ ング・アウト・ レース 組付け用	49 0636 145 ウォータ・ポンプ・ プーリ・ボス・ プーラ		サイド・ベアリン グ 分解用
49 J027 001 ベアリング・ インストーラ		リヤ・ベアリング ・アウト・レース 組付け用	49 0107 680A エンジン・スタンド		ディファレンシャ ル 分解、組付け用

計測器

ダイヤル・ゲージ	バックラッシュおよびピニオン・ ハイト測定用	ノギス	サイド・ベアリング・プリロード 測定用
直定規	サイド・ベアリング・プリロード 測定用		

油脂類、その他

純正ロングライフ・ ハイポイド・ギヤ・ オイル	ディファレンシャル注入、塗布用	純正汎用グリース	各部塗布用、その他
S H780液状ガス ケット (8527 77 739)	キャリヤとリヤ・カバー シール用	光明丹	ドライブ・ピニオンとリング・ギヤ 歯当たり点検用
ネジ・ロック・スー パ (8530 77 743)	リング・ギヤ組付けボルト塗布用		



ディファレンシャル・オイル 点検

注意

- ・車両を水平な場所に置く。

1. フィラ・プラグを取外す。
2. オイルが注入穴付近まであるか点検する。
3. オイルが注入穴付近までない場合、補給する。
4. 新品のワッシャとフィラ・プラグを取付け締付ける。

締付けトルク 4.0~5.5kgm

交換

注意

- ・車両を水平な場所に置く。

1. フィラ・プラグを取外す。
2. マグネット・プラグを取外し、オイルを抜取る。
3. 新品のワッシャとマグネット・プラグを取付け締付ける。

締付けトルク 4.0~5.5kgm

4. フィラ・プラグ穴から指定オイルを注入する。

指定オイル

タイプ：純正ロングライフ・ハイポイド・ギヤ・オイル
(SAE90、GL-5)

量：1.3ℓ

5. オイル注入後、オイル量点検を行う。
6. 新品のワッシャとフィラ・プラグを取付け締付ける。

締付けトルク 4.0~5.5kgm

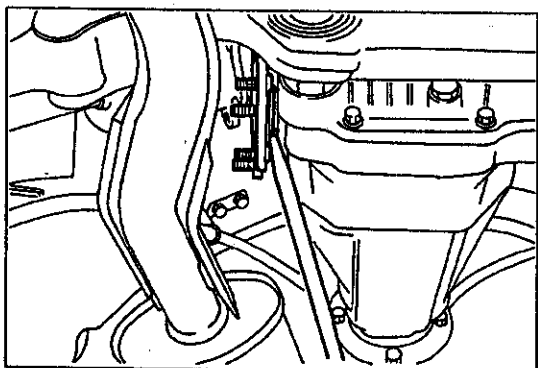
オイル・シール（アウトプット・シャフト）

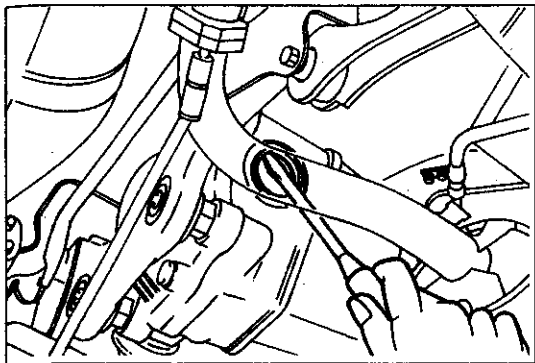
交換

1. 車両をジャッキで上げて、安全スタンドで支える。
2. マグネット・プラグを取外し、オイルを抜取る。
3. 新品のワッシャとマグネット・プラグを取付け締付ける。

締付けトルク 4.0~5.5kgm

4. ドライブシャフトを取外す。（参照：p. M-14）
5. タイヤ・レバー等を使用して、ディファレンシャルからアウトプット・シャフトを取外す。
6. アウトプット・シャフトからクリップ取外す。

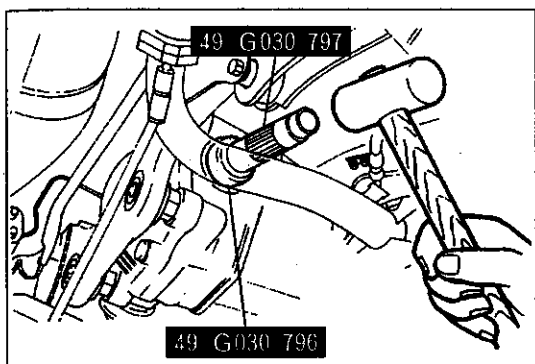




7. マイナス・ドライバ等を使用して、ディファレンシャル・キャリアからオイル・シールを取外す。

注意

- ・ディファレンシャル・キャリア内側に傷を付けないようにドライバ先端にウエスをはさむ。

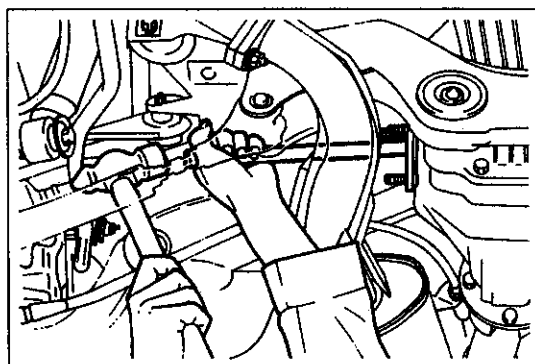


8. 新品のオイル・シールのリップ部に、オイルを塗布する。

9. SSTを使用して、新品のオイル・シールをディファレンシャル・キャリアに取付ける。

注意

- ・オイル・シールをまっすぐに取付ける。



10. 新品のクリップをアウトプット・シャフトに取付ける。

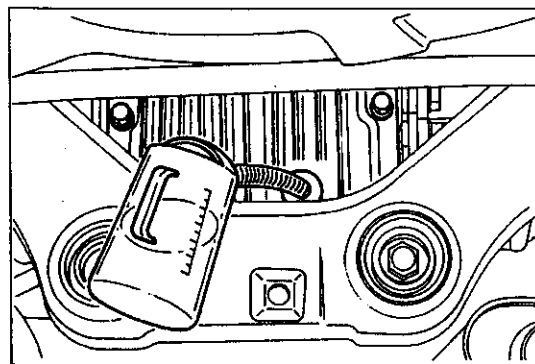
注意

- ・オイル・シールに傷を付けないように取付ける。

11. アウトプット・シャフトをディファレンシャルに取付ける。

注意

- ・アウトプット・シャフトが抜けないことを確認する。



12. フィラ・プラグを取外し、オイルを注入する。

指定オイル

タイプ：純正ロングライフ・ハイポイド・ギヤ・オイル
(SAE90, GL-5)

量：1.3ℓ

13. オイル注入後、オイル量点検を行う。

14. 新品のワッシャとフィラ・プラグを取付け締付ける。

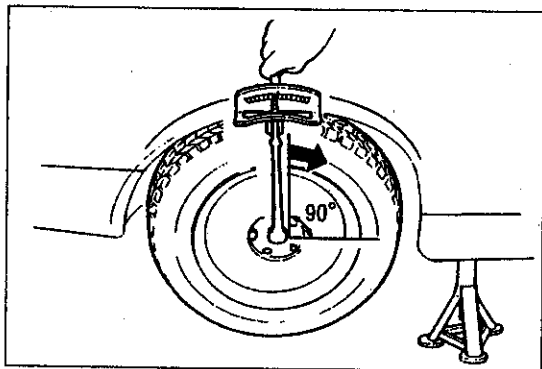
締付けトルク 4.0～5.5kgm

15. ドライブシャフトを取付ける（参照 p. M-14）

機能点検

ビスカスLSD

1. エンジンを停止し、トランスミッションをリバースにシフトする。
2. 前輪に輪止めをする。
3. 片側の後輪をジャッキ・アップし、安全スタンドで支える。
4. パーキング・ブレーキを解除する。
5. ジャッキ・アップした後輪にトルクレンチを当て、規定トルクを保持しホイール アンド タイヤが90度回転するまでに要する時間を測定する。



規定トルク 2 kgm

標準値 3 秒以上

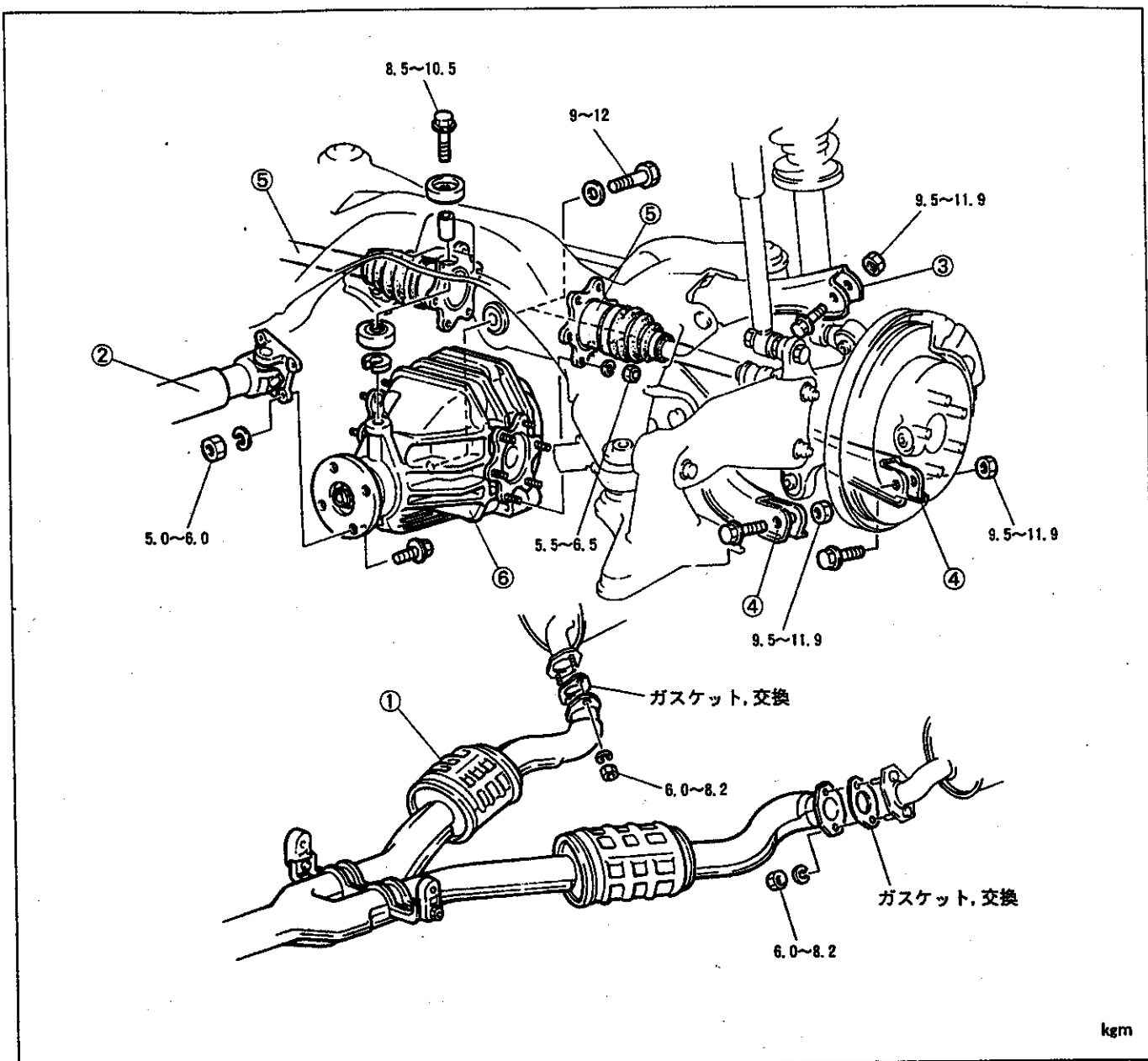
参考

・オイル温度が低いときは、所要時間が長くなります。

6. 所要時間が標準値以下である場合は、ビスカス・カップリングの破損が考えられるので、ディファレンシャルをオーバーホールしビスカスLSD ASSYとオイルを新品交換する。

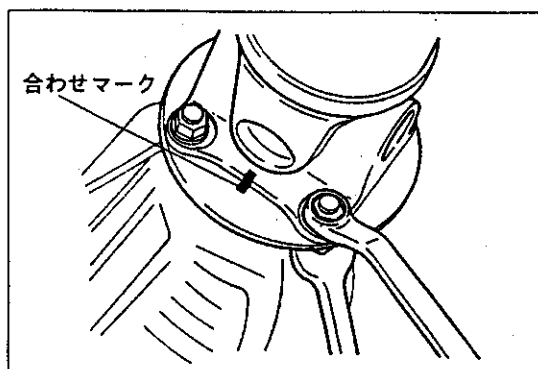
ディファレンシャル（標準型）、リミテッド・スリップ・ディファレンシャル
取外し／取付け

1. ホイール・ナットを緩める。
2. 車両の後部をジャッキ・アップして、安全スタンドで支える。
3. ホイール アンド タイヤを取外す。
4. 取外し時の留意点を参照して、図に示す手順で取外す。
5. 取付け時の留意点を参照して、取外しと逆の手順で取付ける。



1. エグゾースト・パイプ
2. プロペラシャフト
取外し時の留意点..... p. M-26
取付け時の留意点..... p. M-27
3. アッパ・リンク
4. ロア・リンク

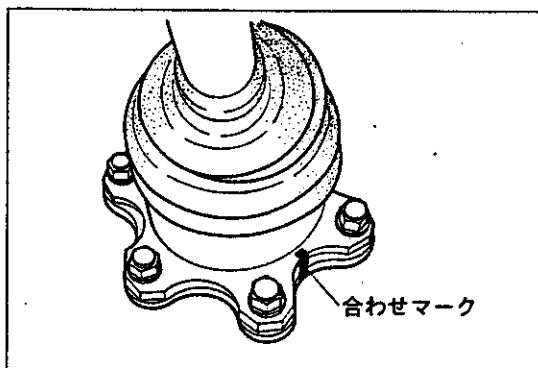
5. ドライブシャフト
取外し時の留意点..... p. M-26
取付け時の留意点..... p. M-27
6. ディファレンシャル
取外し時の留意点..... p. M-26
取付け時の留意点..... p. M-27
分解／点検／組付け..... p. M-28



取外し時の留意点

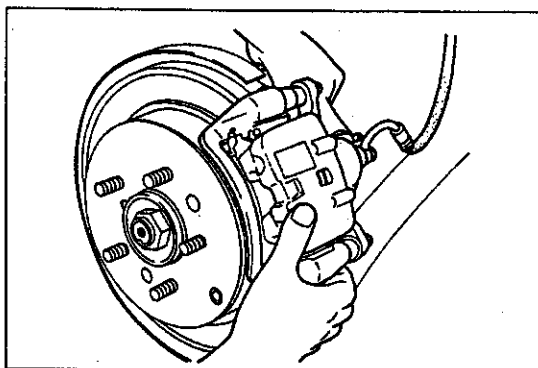
プロペラシャフト

1. プロペラシャフトを取外す前に、コンパニオン・フランジに合わせマークを付ける。

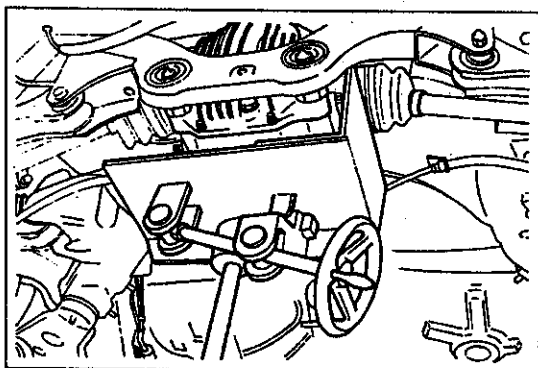


ドライブシャフト

1. ドライブシャフトとアウトプット・シャフトに合わせマークを付ける。
2. ドライブシャフト取付けナットを取外す。



3. 左側ディスク・プレート、ホイール・ハブを手前に引っ張り、アウトプット・シャフトからドライブシャフトを切離す。

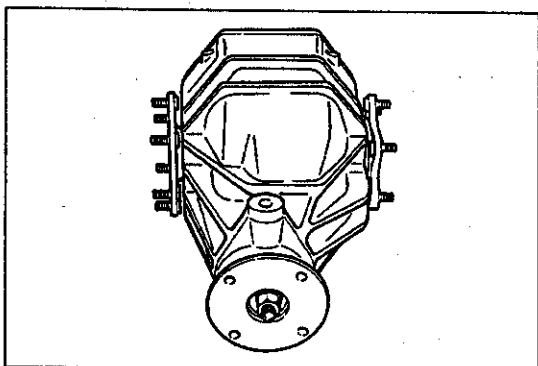


ディファレンシャル

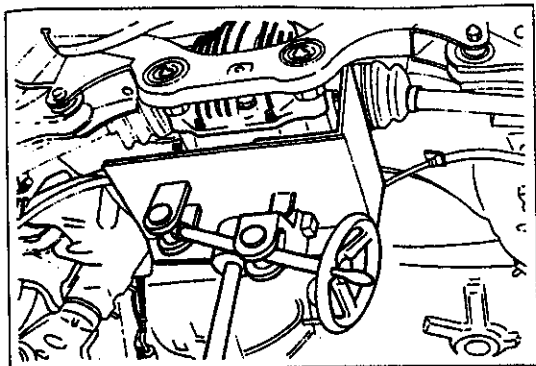
注意

- ・ミッション・ジャッキを使用するか2人で作業を行い、ディファレンシャルを落としてはいけない。

1. ディファレンシャル取付けボルト、ナットを取外す。
2. ディファレンシャルを左側に寄せ、右側のアウトプット・シャフトとドライブシャフトを切離す。



3. サブフレームからディファレンシャルを取外す。



取付け時の留意点
ディファレンシャル

注意

- ・ミッション・ジャッキを使用するか2人で作業を行い、ディファレンシャルを落としてはいけない。

1. 右側のドライブシャフトの合わせマークに合わせて・アウトプット・シャフトを接続する。

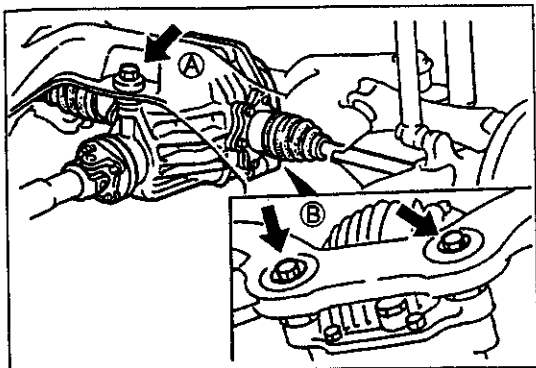
2. サブフレームにディファレンシャルを取付ける。

締付けトルク ㉠ 8.5~10.5kgm

㉡ 9.0~12.0kgm

3. ドライブシャフト取付けナットを締付ける。

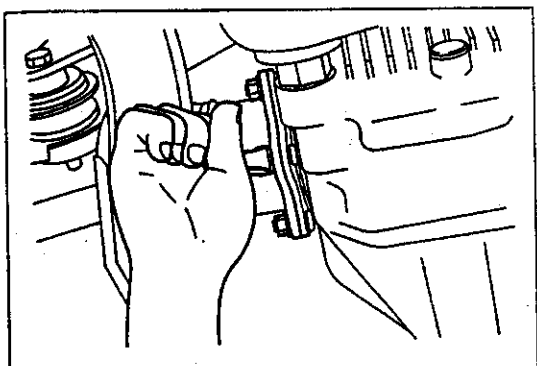
締付けトルク 5.5~6.5kgm



ドライブシャフト

1. ディファレンシャルのアウトプット・シャフトの合わせマークに合わせ、左側ドライブシャフトを接続する。
2. ドライブシャフト取付けナットを締付ける。

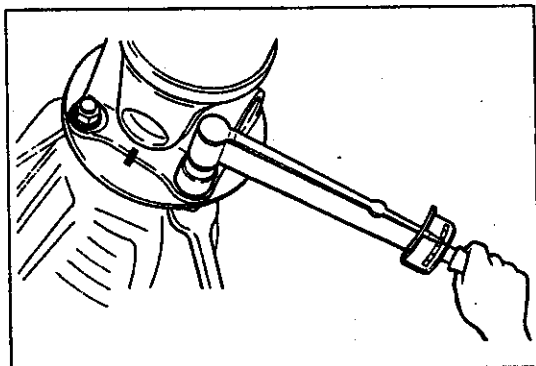
締付けトルク 5.5~6.5kgm



プロペラシャフト

1. コンパニオン・フランジの合わせマークに合わせて、プロペラシャフトを取付ける。
2. ナットを締付ける。

締付けトルク 5.0~6.0kgm

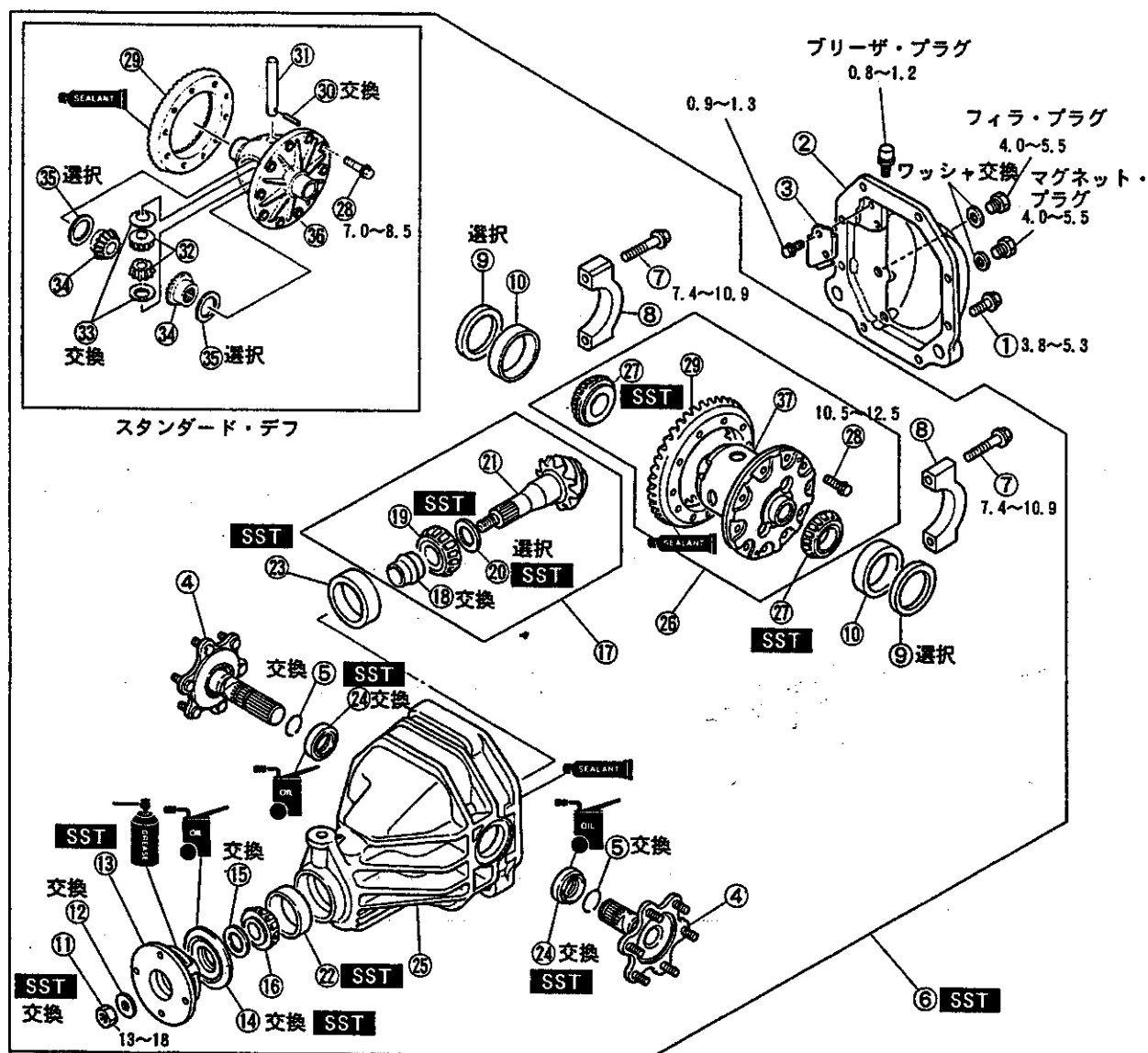


分解／点検／組付け

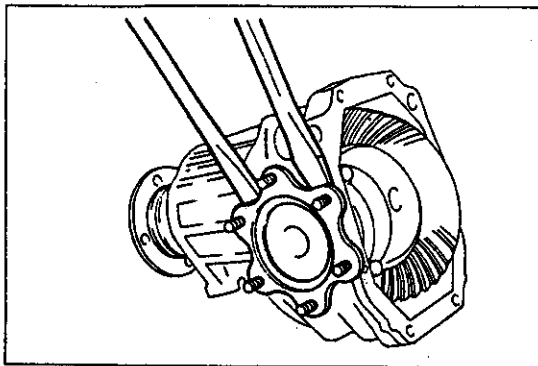
注意

- ・ シール剤を塗布する前に付着した古いシール剤をきれいに取除く。
- ・ 純正 S H 780 液状ガスケット (8527 77 739) を塗布した後、10分以内にディファレンシャル・キャリアを取付ける。
- ・ シール部を接合した後、30分以上放置して、指定オイル (純正ロングライフ・ハイポイド・ギヤ・オイル) を注入する。
- ・ バイスを使用する場合、部品の損傷を防ぐため、必ずアルミ板を介して部品を固定する。

1. 分解時の留意点を参照して、図に示す手順で分解する。
2. 各部品を目視点検し、不具合部品を交換する。
3. 組付け時の留意点を参照して、分解と逆の手順で組付ける。



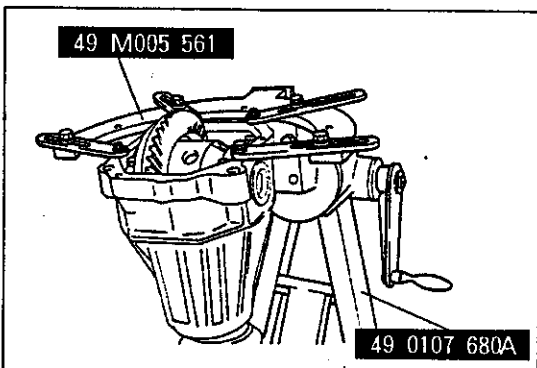
1. ボルト		20. スペーサ	
2. リヤ・カバー		組付け時の留意点.....	p. M-33
3. バッフル・プレート		21. ドライブ・ピニオン	
4. アウトプット・シャフト		スプライン部の損傷、摩耗を点検する	
分解時の留意点.....	p. M-30	ギヤ部の損傷・摩耗・欠損を点検する	
組付け時の留意点.....	p. M-38	22. フロント・ベアリング・アウト・レース	
5. クリップ		分解時の留意点.....	p. M-31
6. ディファレンシャル・ギヤASSY		損傷・摩耗がないか点検する	
分解時の留意点.....	p. M-30	組付け時の留意点.....	p. M-33
7. ボルト		23. リヤ・ベアリング・アウト・レース	
8. ベアリング・キャップ		分解時の留意点.....	p. M-31
分解時の留意点.....	p. M-30	損傷・摩耗がないか点検する	
組付け時の留意点.....	p. M-37	組付け時の留意点.....	p. M-33
9. アジャスト・シム		24. オイル・シール (アウトプット・シャフト)	
分解時の留意点.....	p. M-30	組付け時の留意点.....	p. M-33
組付け時の留意点.....	p. M-36	25. ディファレンシャル・キャリヤ	
10. サイド・ベアリング・アウト・レース		損傷・き裂がないか点検する	
分解時の留意点.....	p. M-30	26. ギヤ・ケースASSY	
損傷・摩耗がないか点検する		27. サイド・ベアリング	
11. ロックナット		分解時の留意点.....	p. M-32
分解時の留意点.....	p. M-31	損傷、作動不良がないか点検する	
組付け時の留意点.....	p. M-36	組付け時の留意点.....	p. M-33
12. ワッシャ		28. ボルト	
13. コンパニオン・フランジ		29. リング・ギヤ	
分解時の留意点.....	p. M-31	損傷、摩耗、欠損がないか点検する	
組付け時の留意点.....	p. M-36	組付け時の留意点.....	p. M-32
14. オイル・シール (コンパニオン・フランジ)		30. ロール・ピン (スタンダード)	
組付け時の留意点.....	p. M-35	分解時の留意点.....	p. M-32
15. スペーサ		組付け時の留意点.....	p. M-32
16. フロント・ベアリング		31. ピニオン・シャフト (スタンダード)	
損傷・作動不良がないか点検する		32. ピニオン・ギヤ (スタンダード)	
17. ドライブ・ピニオンASSY		損傷、摩耗、欠損がないか点検する	
分解時の留意点.....	p. M-31	33. スラスト・ワッシャ (スタンダード)	
組付け時の留意点.....	p. M-35	34. サイド・ギヤ (スタンダード)	
18. ディスタンス・ピース		損傷、摩耗、欠損がないか点検する	
19. リヤ・ベアリング		35. ワッシャ (スタンダード)	
分解時の留意点.....	p. M-31	組付け時の留意点.....	p. M-32
損傷・作動不良がないか点検する		36. ギヤ・ケース (スタンダード)	
組付け時の留意点.....	p. M-35	損傷、き裂がないか点検する	
		37. ギヤ・ケース (ビスカスLSD)	



分解時の留意点

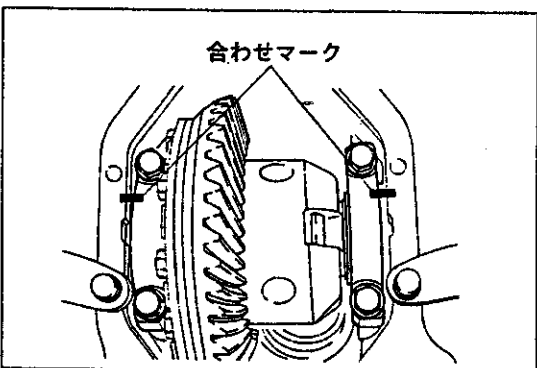
アウトプット・シャフト

1. ディファレンシャルをバイス等で固定する。
2. 適当なレバーを使用して、アウトプット・シャフトを取外す。



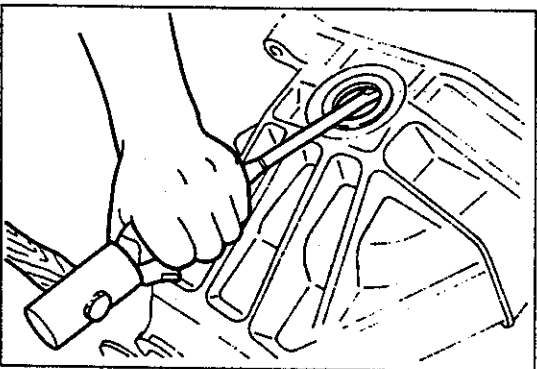
ディファレンシャル・ギヤASSY

1. ディファレンシャル・ギヤASSYをSSTに取付ける。



ベアリング・キャップ

1. ベアリング・キャップとディファレンシャル・キャリアに図示のように合わせマークを付ける。
2. ベアリング・キャップを取外す。

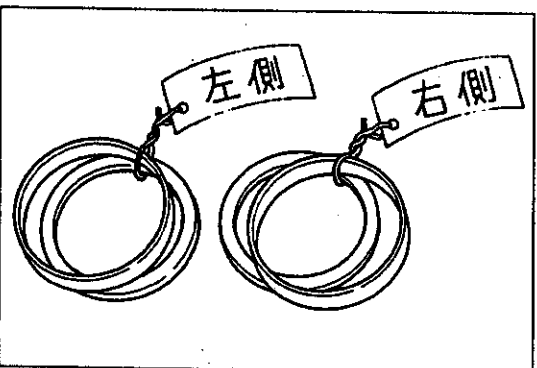


アジャスト・シム、サイド・ベアリング・アウト・レース

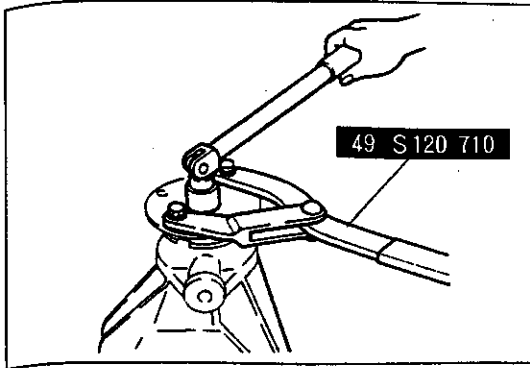
1. 図示のようにマイナス・ドライバ等を使用して、どちらか一方のアジャスト・シムを取外す。

注意

- ・オイル・シール、ベアリング、ディファレンシャル・キャリア内側に傷を付けないように作業する。

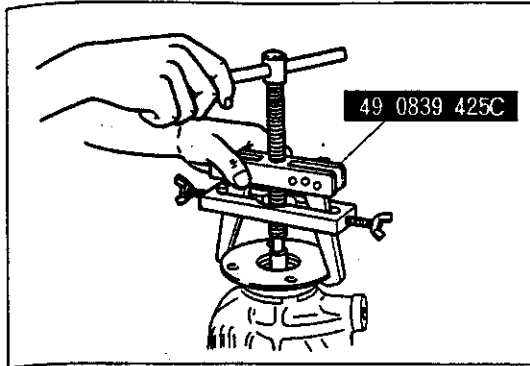


2. 取外したアジャスト・シム、サイド・ベアリング・アウト・レースに、左右の識別を付けおく。



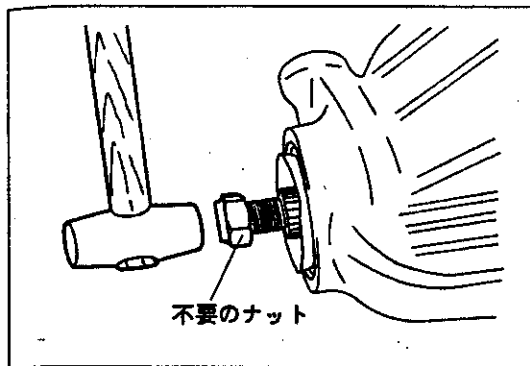
ロックナット

1. SSTを使用してコンパニオン・フランジを固定させ、ロックナットを取外す。



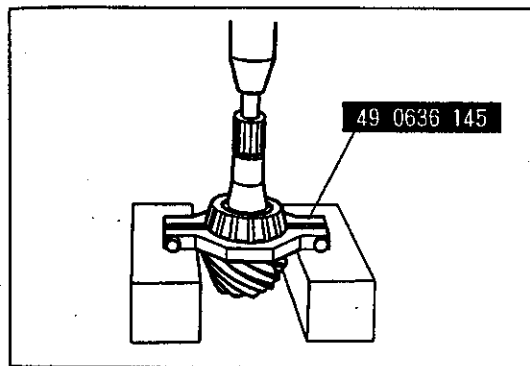
コンパニオン・フランジ

1. SSTを使用して、コンパニオン・フランジを取外す。



ドライブ・ピニオンASSY

1. ねじ山を損傷させないため、ドライブ・ピニオンに不要のナットを取付ける。
2. 銅ハンマでそのナットを軽打して、ドライブ・ピニオンASSYを取外す。

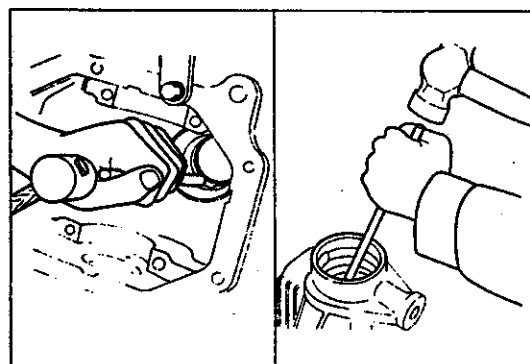


リヤ・ベアリング

注意

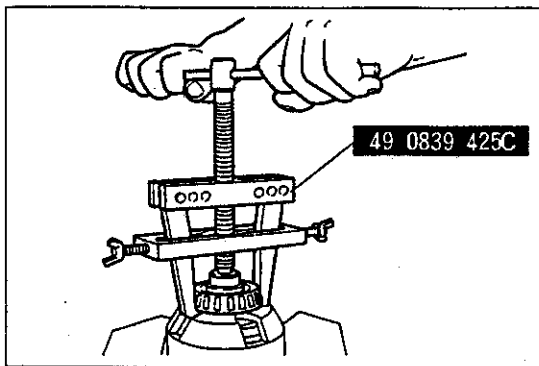
- ・ドライブ・ピニオンが落下しないように手で支えておく。

1. SSTとプレスを使用して、リヤ・ベアリングを取外す。



フロント・ベアリング・アウト・レース、リヤ・ベアリング・アウト・レース

1. 真ちゅう棒を使用して、ベアリング・アウト・レースの端面を均等に軽打し、ベアリング・アウト・レースを取外す。

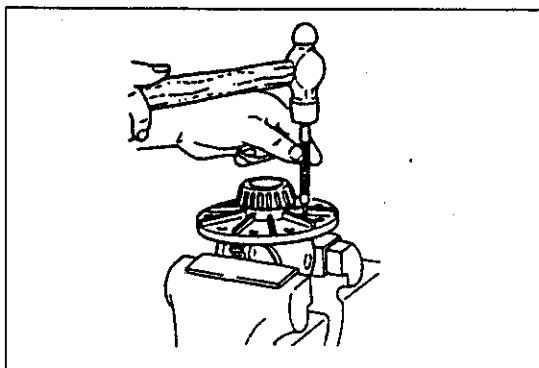


サイド・ベアリング

参考

・サイド・ベアリングに左右の識別を付けておく。

1. SSTを使用して、サイド・ベアリングを取外す。



ロール・ピン (スタンダード)

1. ギヤ・ケースASSYをバイスで固定する。
2. 図で示す方向から、ピン・ポンチを使用してロール・ピンを抜取る。

組付け時の留意点

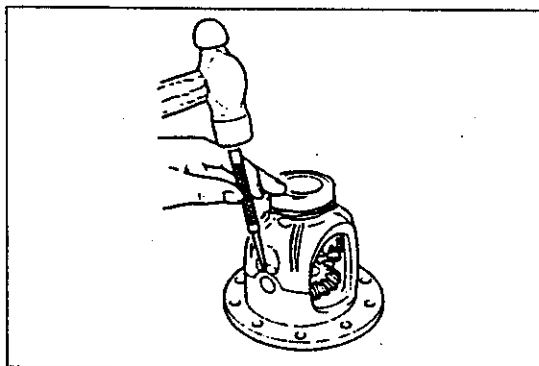
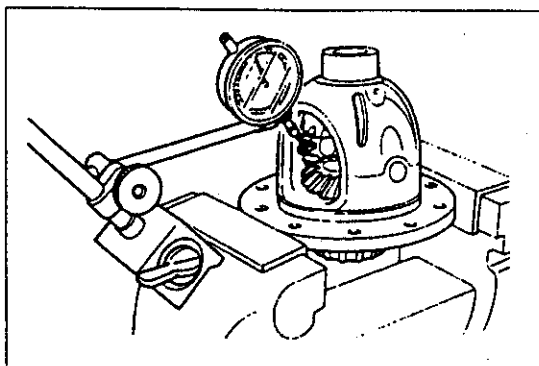
ワッシャ (スタンダード)

1. サイド・ギヤとピニオン・ギヤに直角にダイヤル・ゲージを当て、バッククラッシュを測定する。

標準値 0～0.1mm

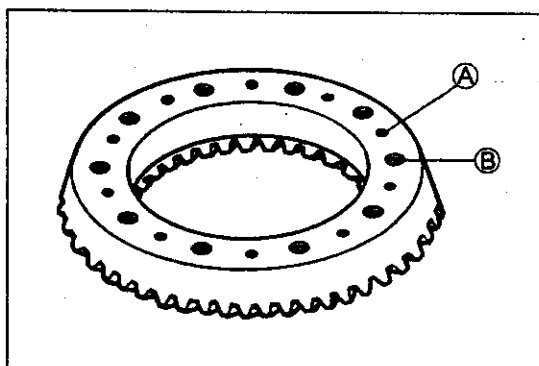
2. 標準値外の場合は、ワッシャを選択使用して調整する。

ワッシャ				
部品番号			厚さ (mm)	判別符号
0578	27	252	2.00	0
P016	27	252	2.05	05
0578	27	253	2.10	1
P016	27	253	2.15	15
0578	27	254	2.20	2



ロール・ピン (スタンダード)

1. ギヤ・ケースとピニオン・シャフトのロール・ピン穴を合わせ、ロール・ピンを打込む。



リング・ギヤ

注意

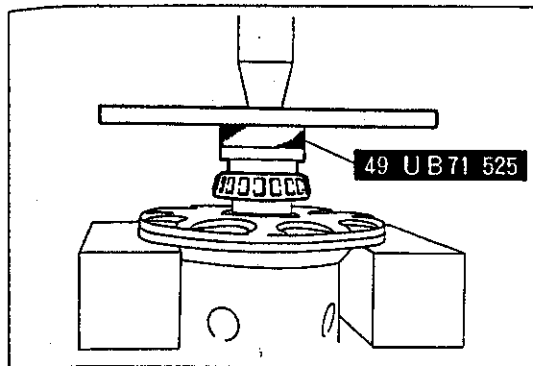
・ネジロック・スーパをそれぞれのポイントA、B (全周) に1箇所約0.4cc塗布する。

1. リング・ギヤをギヤ・ケースに組付ける。
2. ボルトを締付ける。

締付けトルク

20B-REW車 10.5～12.5kgm

13B-REW車 7.0～8.5kgm

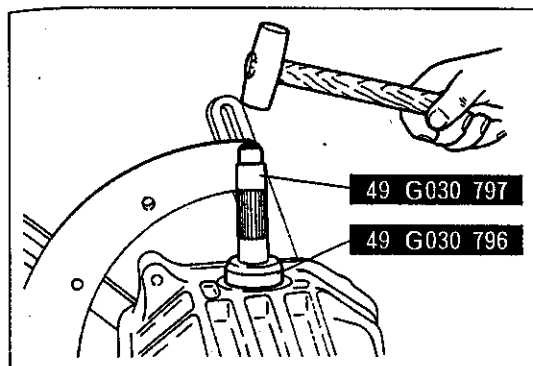


サイド・ベアリング

注意

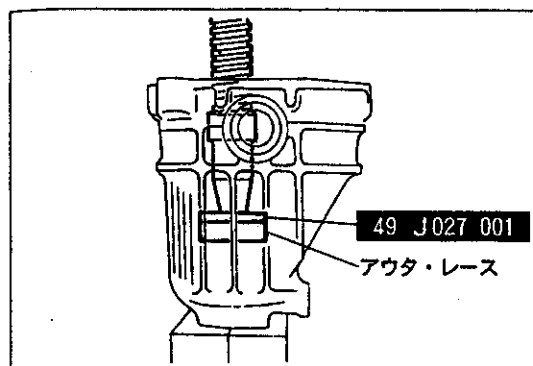
・左右のサイド・ベアリングを混同しない。

1. SSTとプレスを使用して、サイド・ベアリングを組付ける。



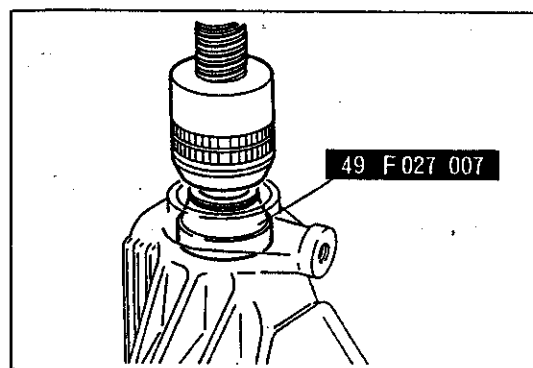
オイル・シール (アウトプット・シャフト)

1. オイル・シールのリップ部にオイルを塗布する。
2. SSTを使用して、新品のオイル・シールを組付ける。



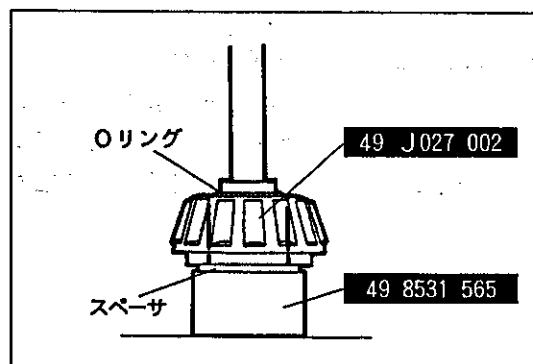
リヤ・ベアリング・アウト・レース

1. SSTとプレスを使用して、リヤ・ベアリング・アウト・レースをディファレンシャル・キャリアに組付ける。



フロント・ベアリング・アウト・レース

1. SSTとプレスを使用して、フロント・ベアリング・アウト・レースをディファレンシャル・キャリアに組付ける。

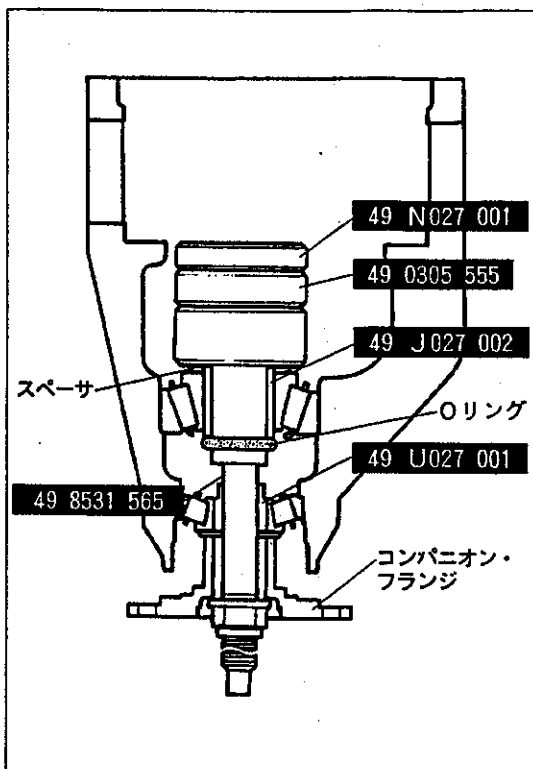


スペーサ (ピニオン・ハイト調整)

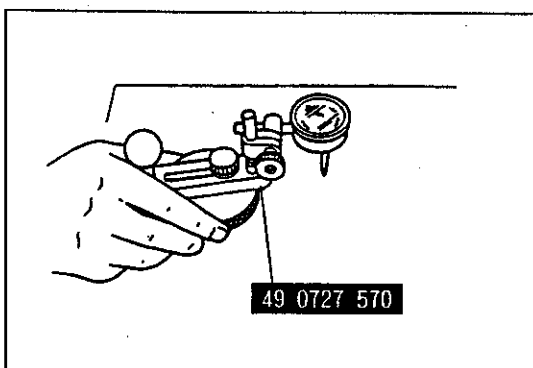
参考

・使用していたスペーサを組付ける。

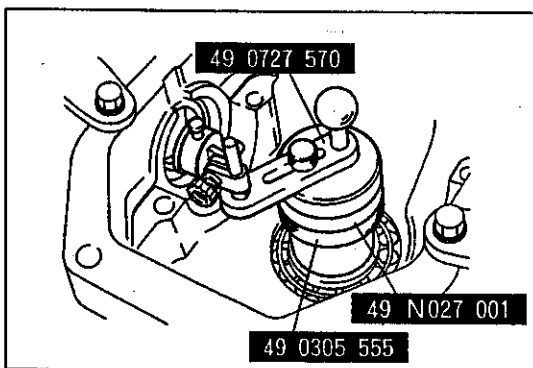
1. SSTにスペーサ、リヤ・ベアリング、Oリングを組付ける。
2. 上記1. で組立てたものをディファレンシャル・キャリア後側から挿入する。



3. ディファレンシャル・キャリヤ前側からSST (カラー)、フロント・ベアリング、スペーサ、コンパニオン・フランジ、ワッシャを組付け、SSTが手で回る程度までナットを締付ける。
4. SSTの上にSST (ゲージ・ブロック) を2個のせ、図で示す状態にする。



5. SSTを定盤の上に置き、ダイヤル・ゲージの目盛りを0にする。



6. SSTを図のようにセットする。
7. ディファレンシャル・キャリヤの左側サイド・ベアリング取付部の最下部を測定し、記録する。
8. 同様に右側を測定し、記録する。
9. 手順7, 8で測定した左右の値を加え、それを0.5倍した値を求める。これがピニオン・ハイトの調整値になる。

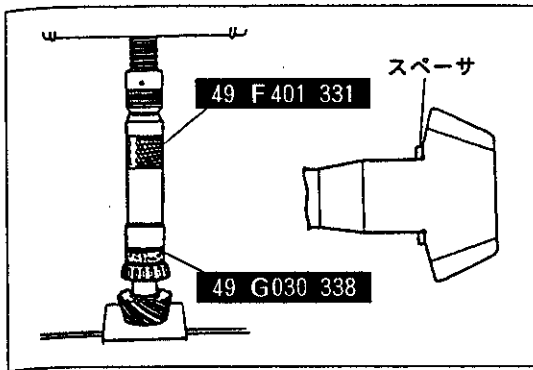
基準値 0 mm

参考

・手順7, 8で測定した値が、0.06mmと0.04mmの場合、

$$\frac{0.06 + 0.04}{2} = 0.05$$
 となり今組んでいるスペーサより0.05mm厚いスペーサを組付ける。尚、スペーサの厚さは、0.03mm毎に設定されているので、もっとも近いスペーサを選択して組付ける。

識別マーク	厚さ (mm)	識別マーク	厚さ (mm)
08	3.08	29	3.29
11	3.11	32	3.32
14	3.14	35	3.35
17	3.17	38	3.38
20	3.20	41	3.41
23	3.23	44	3.44
26	3.26	47	3.47

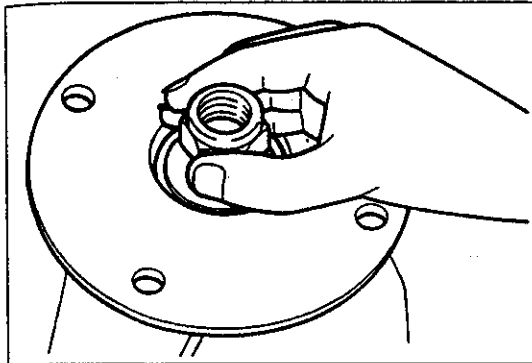


リヤ・ベアリング

注意

- ・スペーサは、面取りのある方をギヤ側に向ける。

1. ピニオン・ハイトの調整で選択したスペーサとリヤ・ベアリングをドライブ・ピニオンに組付け、SSTを使用してプレスで圧入する。



ドライブ・ピニオンASSY (ドライブ・ピニオン・プリロード調整)

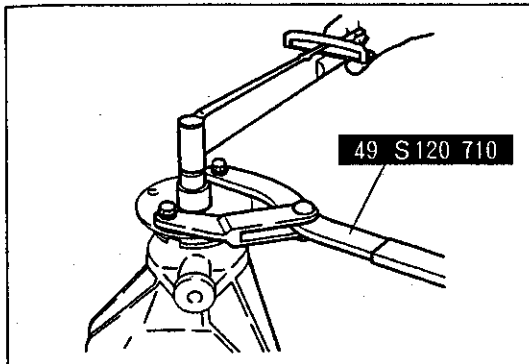
注意

- ・オイル・シールを組付けないで調整する。

1. ドライブ・ピニオンに新品のディスタンス・ピース、フロント・ベアリング、新品のスペーサ、コンパニオン・フランジ、新品のワッシャ、新品のロックナットを組付け仮締めする。
2. コンパニオン・フランジを手で回して、ベアリングを落着かせる。

参考

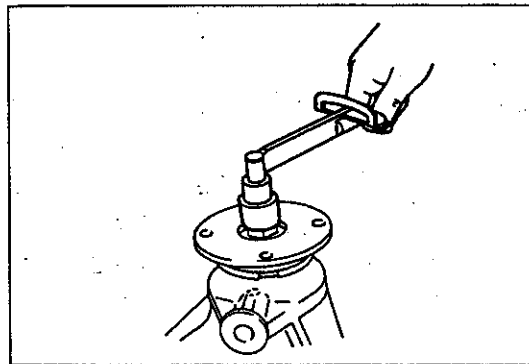
- ・オイル・シール組付け後の作業のため、以下の作業で得られた締め付けトルク値を記録しておく。



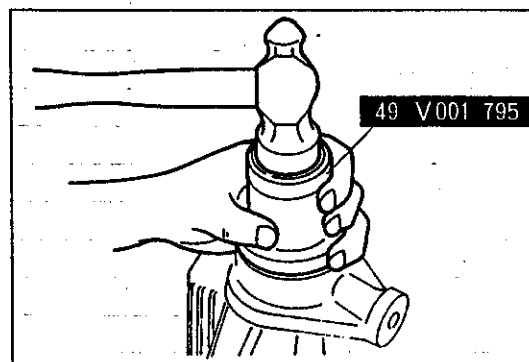
3. SSTを使用して、ロックナットを規定の締め付けトルク内の下限値から締め付けていき、規定のプリロード値内にする。

締め付けトルク 13~29kgm

ドライブ・ピニオン・プリロード 13~18kgcm

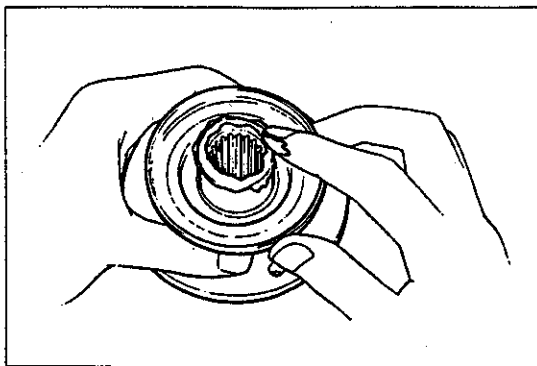


4. 規定の締め付けトルク内で、規定のプリロードが得られない場合、ディスタンス・ピースを新品と交換し、再度調整する。
5. ロックナット、ワッシャ、コンパニオン・フランジを取外す。



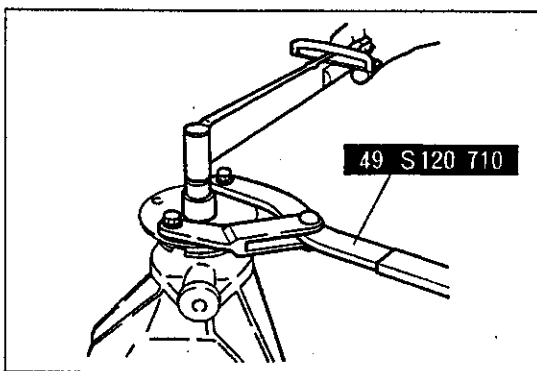
オイル・シール (コンパニオン・フランジ)

1. オイル・シールのリップ部にオイルを塗布する。
2. SSTを使用して、新品のオイル・シールを取付ける。



コンパニオン・フランジ

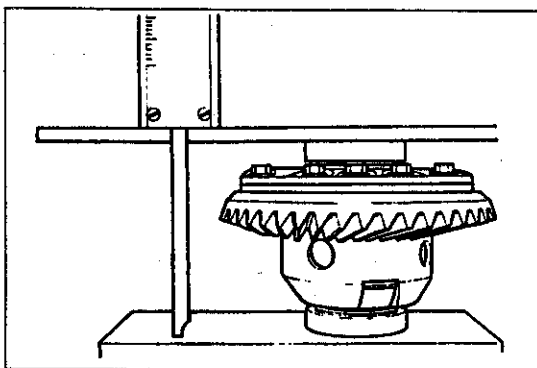
1. コンパニオン・フランジのスペーサ接触面に、純正汎用グリースを塗布する。
2. コンパニオン・フランジを取付ける。



ロックナット

1. SSTを使用して、新品のロックナットをドライブ・ピニオン・プリロード調整の時確認したトルクで、締付ける。
2. ドライブ・ピニオン・プリロードが規定プリロード内にあることを確認する。

プリロード 13~18kgcm



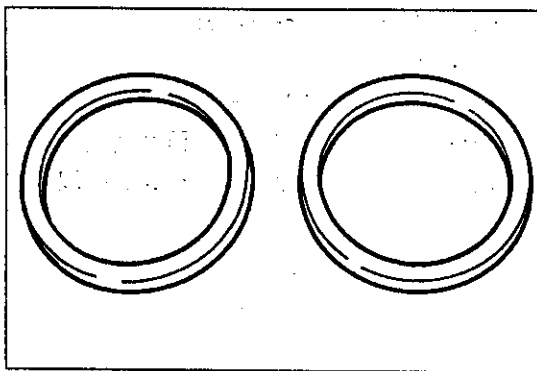
アジャスト・シム (リング・ギヤのバックラッシュ調整)

1. サイド・ベアリング・アウト・レースとギヤ・ケースASSYを図示のように定盤の上に重ねて、ノギスおよび直定規を使用して、高さを測定する。この値を④とする。

標準値 159±0.6mm

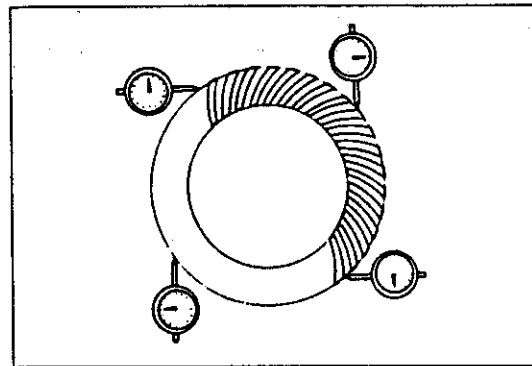
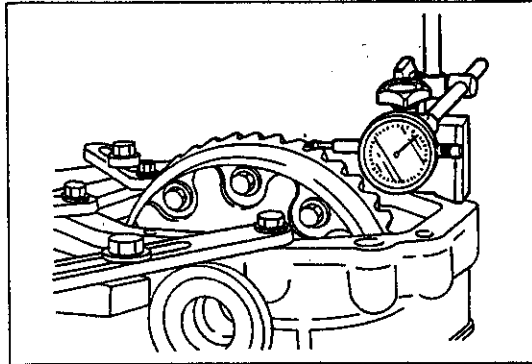
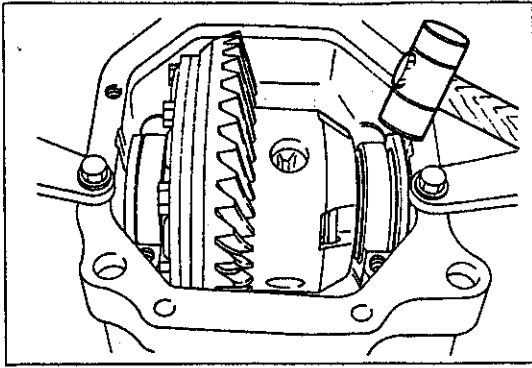
2. 左右のアジャスト・シムの合計の厚さ(δ)は次の式で表われる。

$$\delta = 171 - \text{④} + (0.01 \sim 0.03) \text{ (単位はmm)}$$



3. 使用していたアジャスト・シムの合計の厚さがδと一致した場合は、そのまま使用する。
4. 使用していたアジャスト・シムの合計の厚さがδと一致しない場合、またはアジャスト・シムを交換しなくてはならない場合、下記の表の中から適当なアジャスト・シムを2枚選択する。

アジャスト・シム					
厚さ (mm)	判別番号	厚さ (mm)	判別番号	厚さ (mm)	判別番号
5.50	550	5.90	590	6.25	625
5.60	560	5.95	595	6.30	630
5.65	565	6.00	600	6.35	635
5.70	570	6.05	605	6.40	640
5.75	575	6.10	610	6.50	650
5.80	580	6.15	615		
5.85	585	6.20	620		



注意

- ・アジャスト・シムを再使用する場合、左右を混同しない。
- ・サイド・ベアリング・アウト・レースは左右を混合しない。

5. ディファレンシャル・キャリアにアジャスト・シム、サイド・ベアリング・アウト・レース、ギヤ・ケースASSYを組付ける。
6. アジャスト・シムを最後に組付ける時、図示のようにプラスチック・ハンマで軽打する。
7. ベアリング・キャップを組付け、ボルトで仮締めする。
8. リング・ギヤの歯面先端にダイヤル・ゲージの測定子が直角に当たるように、ダイヤル・ゲージをセットする。
9. ドライブ・ピニオンを固定し、リング・ギヤを動かしたときのバックラッシュを測定する。

標準値 0.09~0.11mm

最小値 0.05mm以上

バラツキ幅 0.07mm以下

注意

- ・バックラッシュの測定は、リング・ギヤ円周上4箇所で行い、4箇所のうち任意の1箇所が標準値内で、4箇所の最小値が0.05mm以上かつバラツキが0.07mm以下であればよい。

10. バックラッシュが上記の範囲にない場合、ギヤ・ケースASSYを軸方向に移動させて調整する。

注意

- ・ギヤ・ケースASSYを軸方向に移動させるのには、アジャスト・シムを交換して行う。この際、右側のアジャスト・シムを0.05mm厚いものに交換したら、左側は0.05mm薄いものに交換する。

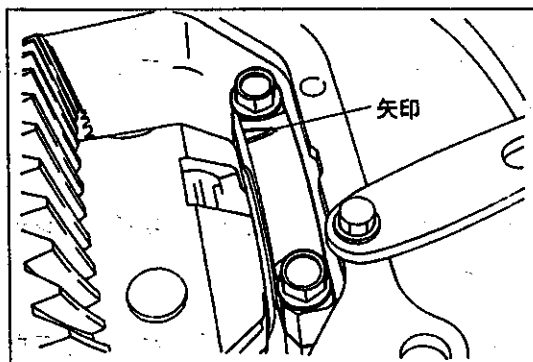
ベアリング・キャップ

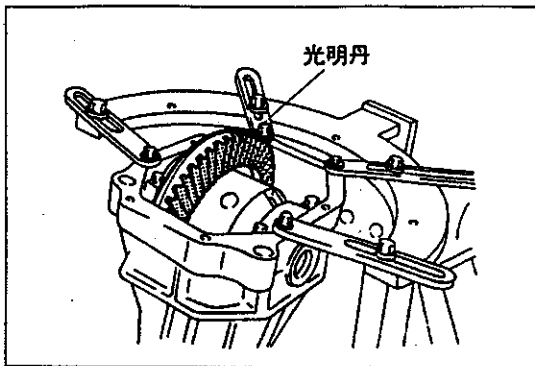
注意

- ・ベアリング・キャップを組付けた後、ドライブ・ピニオンとリング・ギヤの歯当たり点検を行う。(参照p. M-38)
- ・ベアリング・キャップは左右を混同しない。

1. ベアリング・キャップの合わせマークを一致させ矢印の向きを外向きにして、ベアリング・キャップを組付ける。
2. ボルトを規定トルクで締付ける。

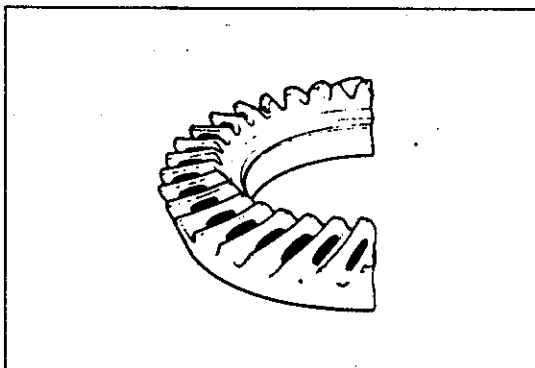
締付けトルク 7.4~10.9kgm





ドライブ・ピニオン、リング・ギヤ歯当たり点検

1. リング・ギヤの歯面両側に光明丹を均一に塗布する。
2. リング・ギヤを前後に数回、回転させる。



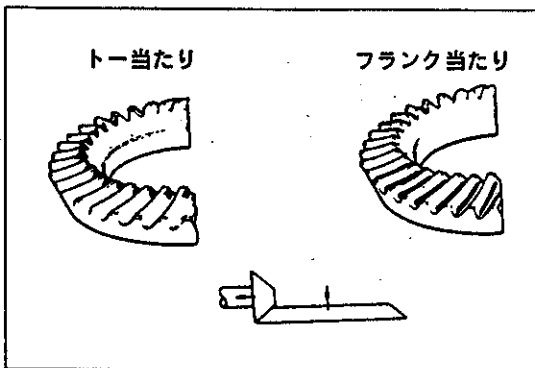
注意

- ・リング・ギヤ円周上の4箇所歯当たり状態を確認する。

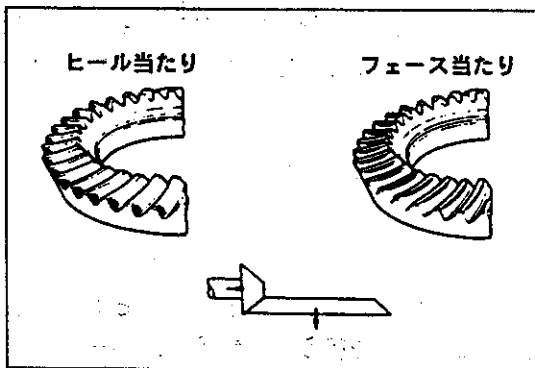
参考

- ・図に示すパターンが正しい歯当たりである。

3. 光明丹が示す歯当たりのパターンを点検する。



4. トー当たり、フランク当たりを示す場合、ドライブ・ピニオンのスペーサを薄いものと交換し、ドライブ・ピニオンを遠ざける。



5. ヒール当たり、フェース当たりを示す場合、ドライブ・ピニオンのスペーサを厚いものと交換し、ドライブ・ピニオンを近づける。

アウトプット・シャフト

1. 新品のクリップをアウトプット・シャフトに組付ける。

注意

- ・右側のアウトプット・シャフトの方が左側のものより長い。
(ビスカスLSD)

2. アウトプット・シャフトをプラスチック・ハンマで軽打して、サイド・ギヤに組付ける。

注意

- ・オイル・シールのリップ部にオイルを塗布し、オイル・シールに傷を付けないように取付ける。

3. アウトプット・シャフトを組付け後、サイド・ギヤからアウトプット・シャフトが抜け出ないことを確認する。

